Hearth Products

DutchWest Japan

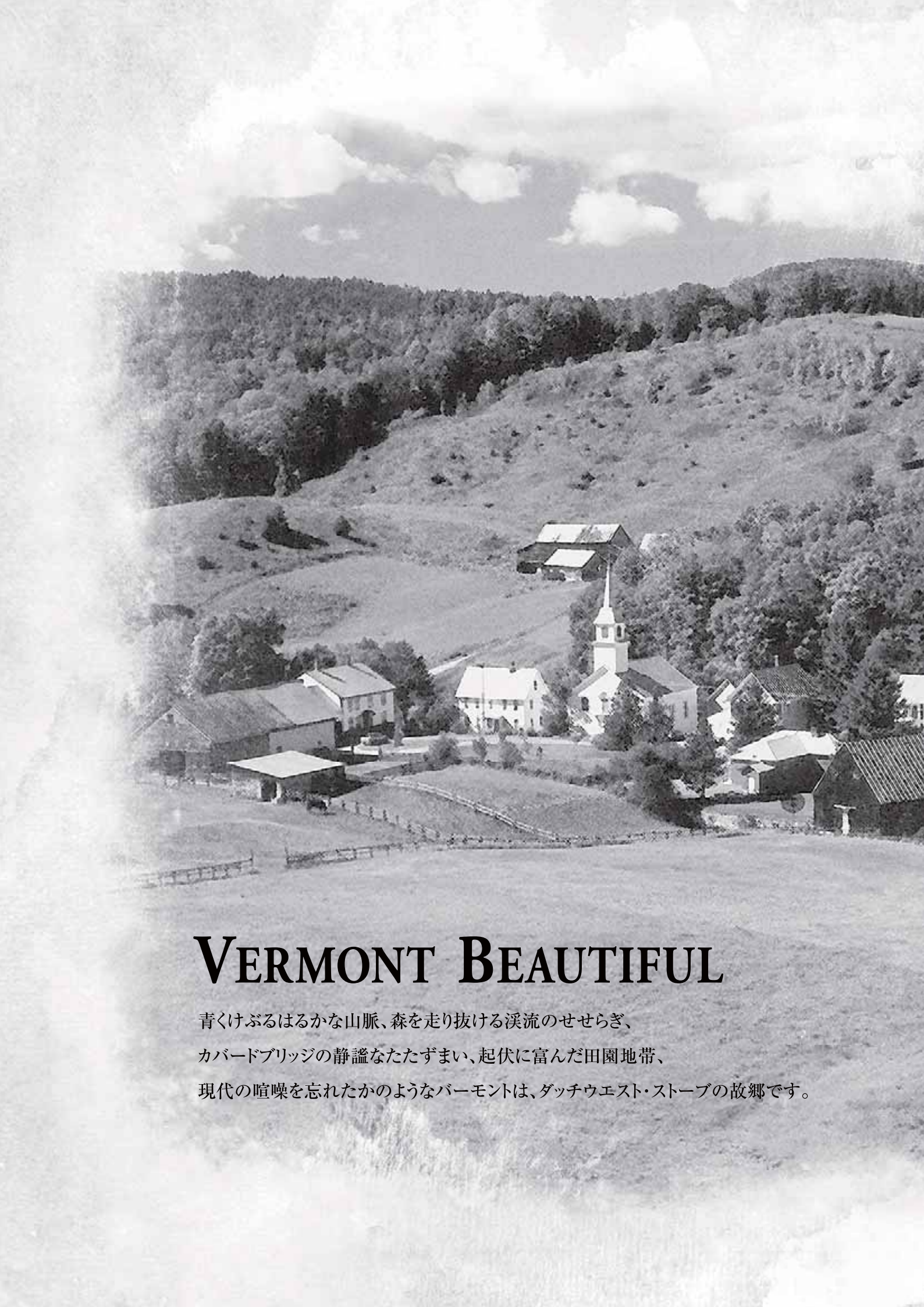
Manual

取扱説明書

Federal Convection Heater

FA225 / FA265 / FA285

Seneca & Sequoia

FA405 / FA405R / FA455

VERMONT BEAUTIFUL

青くけぶるはるかな山脈、森を走り抜ける渓流のせせらぎ、

カバードブリッジの静謐なたたずまい、起伏に富んだ田園地帯、

現代の喧噪を忘れたかのようなバーモントは、ダッチウエスト・ストーブの故郷です。

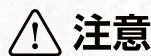
この度は、ダッチウエスト薪ストーブを
お買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この取扱説明書では、ダッチウエスト触媒燃焼方式、
FA225・FA265・FA285・FA405・FA405R・FA455に
関する使用上の注意事項と使用方法を説明しています。
これらの薪ストーブは、
キャタリティックコンバスター(触媒)を装備しており、
非常に優れた2次燃焼と、高い燃焼効率を誇る製品です。
薪ストーブライフを有意義にお過ごしいただくため、
使用方法を正しくご理解していただく必要があります。
安全に末永くお使いいただくため、
この「取扱説明書」を必ずていねいにお読みください。
また、全てお読みになった後は、
この「取扱説明書」を大切に保管してください。

目 次

安全上のご注意（必ずお守りください）

お客様や他の人への危害や財産への損害を未然に防ぐために、必ずお読みになり、正しくご使用ください。ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載しています。よく理解していただき必ずお守りください。

表示マークについて

⚠ **警告** 人が死亡または重傷、財産への損害を与える恐れがあります。

⚠ **注意** 人が怪我または製品に損傷を与える恐れがあります。

⚠ 警告

●しっかりと乾燥した薪以外は燃やさないでください。

●海水につかった流木、ペンキ、薬品、接着剤など化学処理された木材、ガソリン、オイル、灯油、プラスチック、ビニール、発泡スチロール、紙類、生ゴミは絶対に燃さないでください。有害物質の発生や本体、煙突の変形、破損、そして火災の原因となります。

●ストーブ、煙突の周囲には、紙、衣類、洗濯物などの可燃物やライターやスプレー缶など引火の恐れのあるものは置かないでください。火災の原因となります。

●お客様ご自身の判断による本体、煙突の改造はしないでください。正常な燃焼が行われず、破損や火災の原因となります。

●ご就寝やお出かけの際には、全てのドアが完全にしまっているか確認してください。また、周囲に可燃物を置かないでください。火災の原因となります。

●温度管理をしてください。本体の温度が300℃以上継続して焚くと破損や火災の原因となります。

●ご使用中、フロントドア、サイドドアを開ける際には、バイパスダンパーを必ず開けてください。バイパスダンパーを開け忘れますと煙や炎が室内に流出し火災の原因となります。

●灰受けドアを開けたまま、使用しないでください。燃焼用空気のコントロールができず、過燃焼によって破損や火災の原因となります。

●灰は火が完全に鎮火したことをご確認の上、不燃性の灰入れバケツに入れフタをし、不燃の床、そして可燃物のない場所に保管してください。3日以上経過した後、冷えていることを確認してから処理してください。可燃性のある床や場所に保管しますと火災の原因となります。

●万が一、煙突火災が発生した場合には、速やかに各ドア及び空気調整レバーを閉じて屋外へ避難し、消防署とお買い求めの販売店へ連絡してください。

●大きな地震や落雷があった場合には、本体及び煙突の点検を行ってください。不安が残る場合には、ご使用にならずお買い求めの販売店へご相談ください。

⚠ 注意

●ストーブの使用方法については、必ずお買い求めの販売店より使用説明を受けてください。

●ご使用中は本体や煙突が非常に高温となりますので、火傷には十分気をつけてください。

●ドアの開閉時や薪の投入など、燃焼中に本体の操作を行う場合は、必ず保護手袋を着用してください。

●ご使用中、ストーブから離れる際は、全ての扉が閉まっていることを確認してください。火の粉が飛ぶ恐れや、薪が転がり落ちてくる危険性があります。

●灰は、ストーブ本体が冷えている状態で処理してください。火傷の原因となります。

●定期的に本体及び煙突のメンテナンスを行ってください。(年に1回程度)メンテナンスを怠ると正常な燃焼が行われず、ストーブの破損や火災の原因となります。詳しくはP25をご覧ください。

●ストーブを焚き始める前には、必ず慣らし焚きを行って下さい。初めから高温で使用すると破損の原因となります。慣らし焚きについてはP15、P18をご覧ください。

●焚きはじめの数回は、お部屋を換気しながら行ってください。ストーブと煙突に塗られている塗料が熱せられ、煙と臭いが発生します。

●非常時に備え、消火器及び煙感知器を設置することをおすすめします。

●お子様がいらっしゃるご家庭の場合、火傷や怪我のないようストーブフェンスを設けることをおすすめします。

●ご使用中、万が一火傷を負った場合は、患部を冷やしてください。その後速やかに医師の診断をお受けください。

2

部品確認と脚の取り付け方法

準備と確認
部品確認と脚の取り付け方法

フェデラル コンベクションヒーター

部品の確認

まず、火室および灰受け皿に入っている部品を全て取り出し、下記の部品が入っているか確認してください。

●ヒーター本体（キャタリティック・コンバスター含む）
●脚 ………… 4本
●灰受皿 ………… 1ヶ
●プローブ温度計 ………… 1ヶ
●ウッドハンドル ………… 1本
●インテラムガスケット（交換用） ………… 1本
●ボトムヒートシールド ………… 1枚
●ボトムヒートシールド用
・1/4-20x1/2インチ六角ボルト ………… 4本
・1/4-20 ナット ………… 4個
●下記の金物が入った袋
・＃10x1/2″ ネジ
（煙突とフルーカラー固定用） ………… 3本
・ワッシャー（ストーブの脚用） ………… 4個
・ドアハンドルホルダー ………… 1個
・ボトムヒートシールド用ブラケット ………… 4ヶ
・ツールキット ………… 1セット

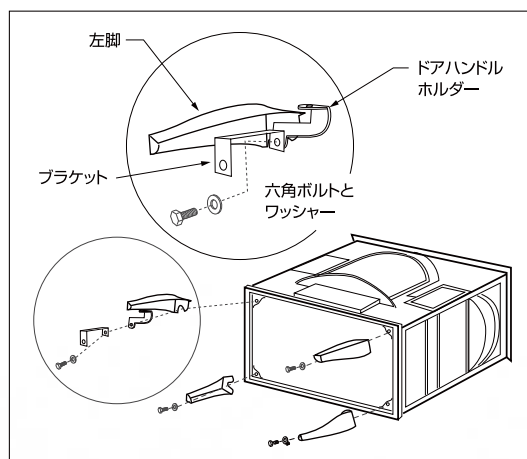
※脚用六角ボルトは、ストーブの底にある各ボルトの差込穴に差し込まれています。

注意
部品を点検して、不足部品や欠陥部品があった場合は、すぐに販売店に連絡してください。必要な部品が無いまま、あるいは欠陥部品を使用して、ストーブを組み立てないでください。

プローブ温度計

1 トッププレートの中央にある穴に5mmのドリルを差し込み、軽く手で回し、リフラクトリーペッケージに穴を開けてください。

2 温度計の軸を穴に差し込んでください。

脚の取り付け方法

1 ストーブの底にあるボルトを取り外し、ハンドルホルダー、ボトムヒートシールドブラケット、ワッシャーをはめてください。

2 脚を所定の位置にあてがい、ボルトを締め付けてください。あまり強く締めすぎますと、ネジ山を壊す原因になりますので、十分に気を付けてください。

3 ドアハンドルホルダーを、左前の脚にあてがい、ボルトを締め付けます。ボトムヒートシールドを取り付ける場合は、各脚にブラケットを取り付けてください。

注意
ストーブを毛布などの柔らかい物の上に、背中を下にして置いてください。このストーブは大変重いですので、十分に気を付けて行ってください。ストーブの下に角材などを挟みますと、作業がしやすくなります。ストーブを傾ける際に、グレートやアンダイアンなどの取り外しのできる物は、中で転がり破損しないように取り外してください。

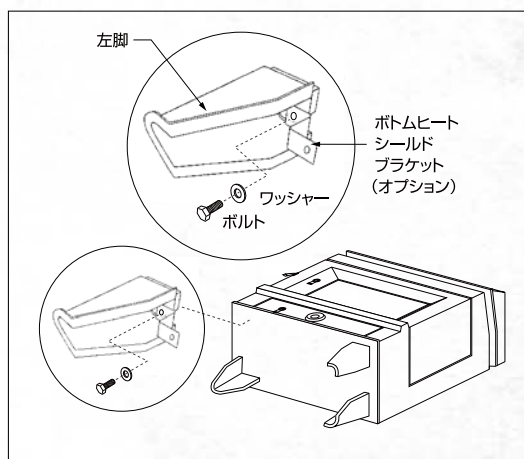
セネカ & セコイア

部品の確認

まず、火室および灰受け皿に入っている部品を全て取り出し、下記の部品が入っているか確認してください。

●ヒーター本体
●脚 …… 4本
●灰受皿 …… 1ケ
●プローブ温度計 …… 1ケ
●セラミックハンドル …… 1本
●ブラスハンドル …… 1本
●シェーカーハンドル ……（セコイアのみ）1本
●インテラムガスケット（交換用） …… 1本
●ストーブ脚取り付け用
・1/4-20×1インチ六角ボルト …… 4本
・1/4インチワッシャー …… 4枚
・1/4-20×1インチ六角ボルト
（脚レベル調整用） ……（セネカのみ）4本
●煙突とフルーカラーの固定用
・＃10×1/2インチネジ …… 3本
●エアーコントロール用（セネカのみ）
・サーモスタットハンドル取手（ブラス） …… 1本
・サーモスタットハンドル（木製） …… 1本
・8-32×2ネジ …… 1本
●ツールキット …… 1セット

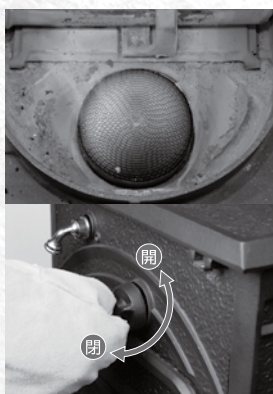
注意 部品を点検して、不足部品や欠陥部品があった場合は、すぐに販売店に連絡してください。必要な部品が無いまま、あるいは欠陥部品を使用して、ストーブを組み立てないでください。

脚の取り付け方法

脚を所定の位置にあてがい、ボルトを締め付けてください。あまり強く締めすぎますと、ネジ山を壊す原因になりますので、十分に気を付けてください。

注意 ストーブを毛布などの柔らかい物の上に、背中を下にして置いてください。このストーブは大変重いですので、十分に気を付けて行ってください。ストーブの下に角材などを挟みますと、作業がしやすくなります。ストーブを傾ける際に、グレートやアンダイアンなどの取り外しのできる物は、中で転がり破損しないように取り外してください。

プローブ温度計

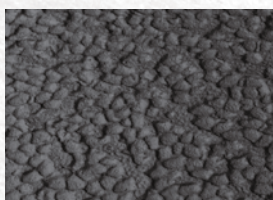
1. トッププレートの中央にある穴に5mmのドリルを差し込み、軽く手で回し、リフラクトリーペッケージに穴を開けてください。
2. 温度計の軸を穴に差し込んでください。

フェデラル コンベクションヒーター

コンバスターエアーダイヤル

2次燃焼空気量をコントロールしてコンバスターの過燃焼を防ぎます。ダイヤル式のため細かいコントロールが可能です。

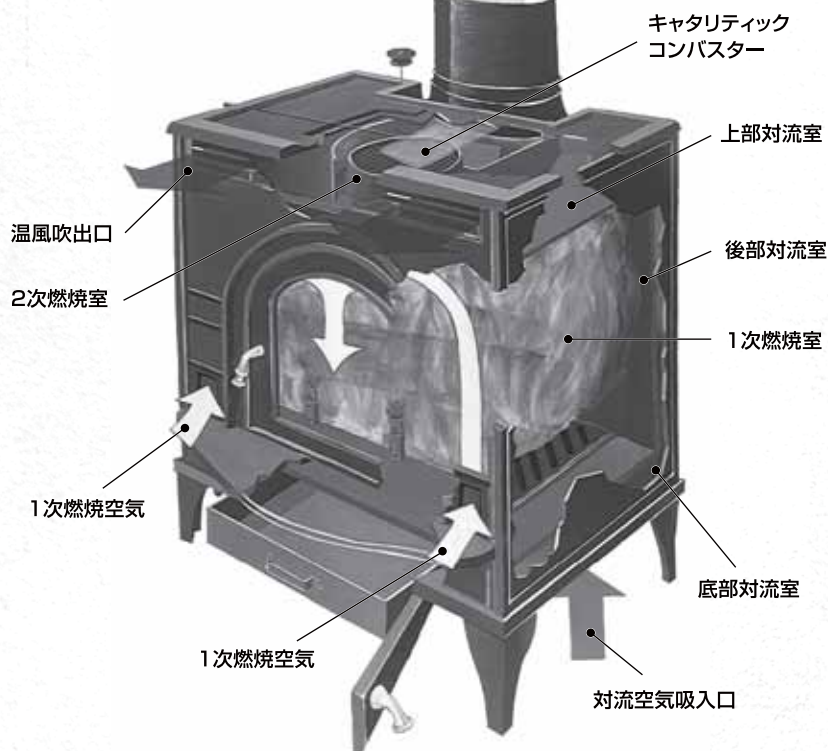
ダンパー開く　ダンパー閉じる

バイパスダンパー

バイパスダンパーを開けておくと、着火時の不安定な燃焼がパワーアップして早く安定した燃焼が得られます。また、薪をくべるときにドアを開けても煙や火の粉が室内に流れ出すことがありません。

優れた放熱性

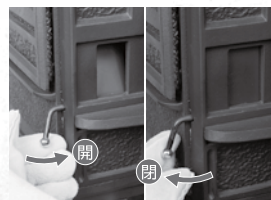
小石で打ったような表面は、立体感を与えながら表面積を40%もアップ。さらに、ストーブ内壁との二重構造によって放熱面積を58%も高め、通常の約2倍の放熱性を得ました。

リアヒートシールド オプション

リアヒートシールドを取り付ければ背面の安全距離を縮められ、前面・側面に効率よく輻射熱を放射します。

コンベクションファン オプション

正面上部にある温風吹出口へ強制的に強力な温風を送り、部屋の隅々まで対流熱を行き渡らせます。

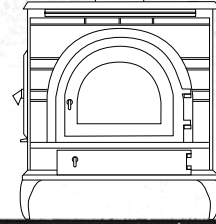
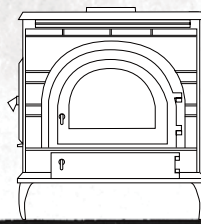
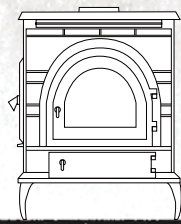
サイドドア

煙より低い位置にドアが設置されているため煙の室内流出を防ぎながら、薪の補給時に起こりやすい乱流の発生も抑えます。

エアーコントロールレバー

1次燃焼空気を調節するレバー。前面両サイドにある1次空気吸入口を開閉するため、目で見ながら微調整が行えます。

スモール FA225

ラージ FA265

エクストララージ FA285

リバーシブルフルーカラー

このフルーカラーによって、煙突を上にも後ろにもフレキシブルに接続することができます。

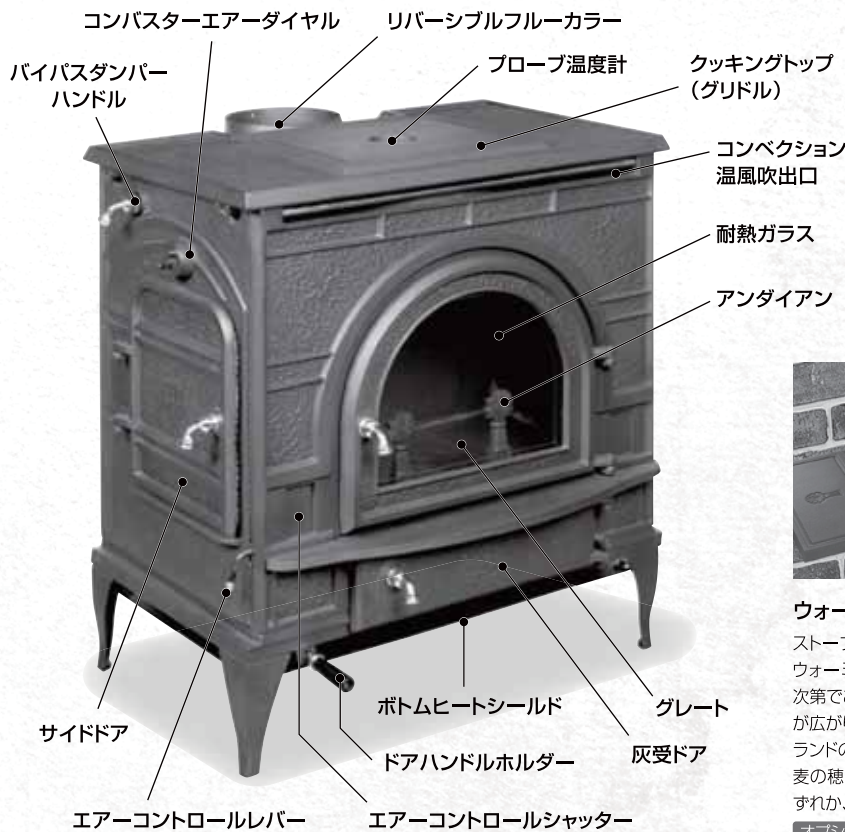
コンベクション温風吹出口

ここから放出される対流熱によって、輻射熱では届かない部屋の隅々や隠れた場所までも暖めます。

アンダイアン

薪がガラスに触れると煤が付きやすくなります。麦の穂の形の薪支えでいつも視界をクリアに保ちます。

オーブンとして

ストーブ炉内に別売のクッキングスタンドを置けば、本格的なオーブン料理を楽しむことができます。

クッキングトップ（グリドル）

鍋の底が密着するように平面に仕上げられたクッキングトップ。プローブ温度計が付いているので、調理をするときの温度管理にも便利です。

ウォーミングシェルフ

ストーブトップを有効に使えるウォーミングシェルフ。使い方次第であなたのストーブライフが広がります。ダッチウエストブランドのモチーフとなっている麦の穂が彫られたウォーミングシェルフは、左右いずれか、もしくは両側に取り付けることができます。

オプション 〈FA225、FA265のみ取付可〉

ドアハンドルホルダー

ドアハンドルが熱せられないように、使わないときには専用ホルダーに収めておきます。（標準仕様）

ボトムヒートシールド

床面の加熱を防ぎながら、熱を前面に集中させるスチールプレート製のヒートシールドです。（標準仕様）

分離した灰受ドアと灰受皿

灰受ドアと灰受皿は燃焼室の下に独立しているので、燃焼中であっても安全に灰を捨てることができます。

ガラス洗浄

１次燃焼空気がガラス上部からエアーカーテンとなって強烈に吹き注ぐため、いつでもガラスはクリアです。

3 本体の基礎知識

セネカ & セコイア

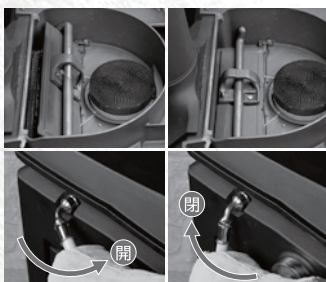
ダンパー開く　　ダンパー閉じる

バイパスダンパー

バイパスダンパーを開けておくと、着火時の不安定な燃焼がパワーアップして早く安定した燃焼が得られます。また、薪をくべるときにドアを開けても煙や火の粉が室内に流れ出すことがありません。

Seneca
セネカ

リバーシブルフルーカラー
コンバスター エアーダイヤル
クッキングトップ
プローブ温度計
バイパス ダンパー ハンドル
エアー コントロール レバー
温風吹出口
耐熱ガラス
アンダイアン
ロッカーグレート（セコイアのみ）
灰受ドア
サイドドア
シェカーグレート
アンダーファイヤー エアーダイヤル

Sequoia
セコイア

クッキングトップ

ストーブトップ全体がフラットなためクッキングに最適です。天板の温度が200～300℃に上昇するため煮物料理も得意です。

サイドドア

煙より低い位置にドアが設置されているため煙の室内流出を防ぎながら、薪の補給時に起こりやすい乱流の発生も抑えます。

分離した灰受ドアと灰受皿

灰受ドアと灰受皿は燃焼室の下に独立しているので、燃焼中であっても安全に灰を捨てることができます。

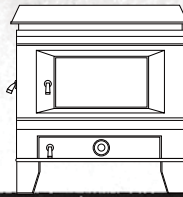
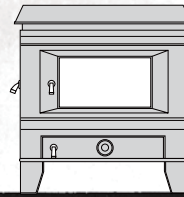
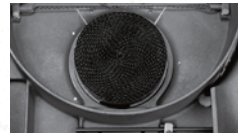
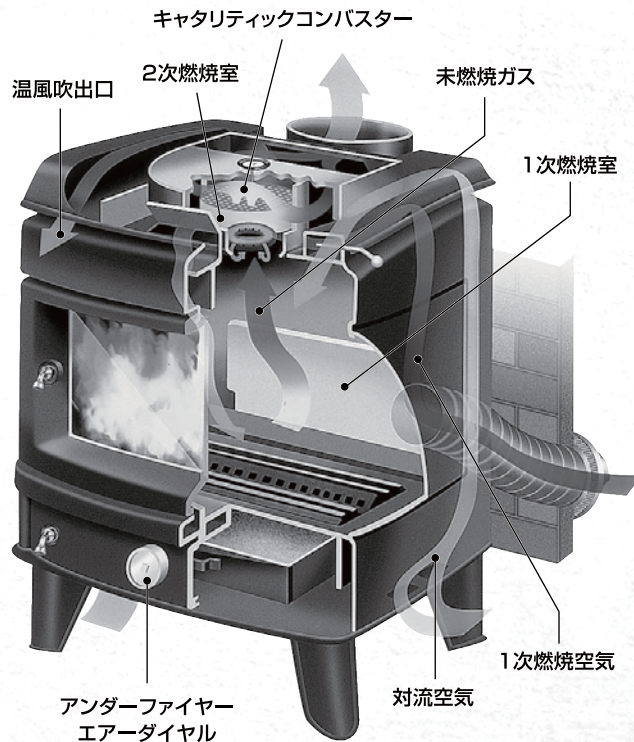
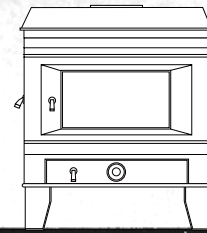
ガラス洗浄

１次燃焼空気がガラス上部からエアーカーテンとなって強烈に吹き注ぐため、いつでもガラスはクリアです。

アンダイアン

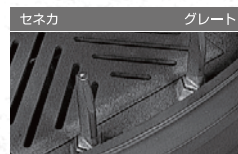
薪がガラスに触れると煤が付きやすくなりますが、この薪支えがあればいつも視界をクリアに保ちます。

オーブンとして

ストーブ炉内に別売のクッキングスタンドを置けば、本格的なオーブン料理を楽しむことができます。

コンバスター エアーダイヤル

2次燃焼空気量をコントロールしてコンバスターの過燃焼を防ぎます。ダイヤル式のため細かいコントロールが可能です。

エアー コントロールレバー

1次燃焼空気を調節するレバー。温度調節はこのレバーだけで簡単かつ正確にコントロールできます。

グレート・ロッカーグレート

セネカには隙間のあるグレートが装備され、余分な灰は自然に灰受皿に落ちます。また、セコイアに装備されたロッカーグレートは、燃焼中であってもハンドル操作で強制的に下の灰受皿へ灰を落とすことができます。

アンダーファイヤーエアーダイヤル

着火直後にこのダイヤルを開くと、空気が勢いよく送り込まれて素早く安定燃焼へ向います。

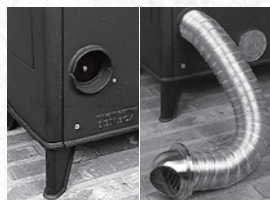
セラミックハンドル

安全な着脱式のセラミック製ハンドル。フロントドア、サイドドア、灰受ドア、バイパスダンパーの開閉時に使用します。

ブラスハンドル

コンバスターエアーダイヤル、アンダーファイヤーエアーダイヤルの空気調整時に使う、美しい真鍮製の着脱式ハンドルです。

シェーカーグレートハンドル

このハンドルを動かすだけでロッカーグレートが左右に回転して、余分な灰が炉内の下にある灰受皿に落ちます。(セコイア)

外気導入キット オプション

このキットを取り付けると、屋外から直接燃焼用の空気を取り込むことができますので、高気密住宅などへの設置に適しています。

コンベクションファン オプション

正面上部にある温風吹出口へ強制的に強力な温風を送り、部屋の隅々にまで対流熱を行き渡らせます。

リアヒートシールド オプション

リアヒートシールドを取り付ければ背面の安全距離を縮められ、前面・側面に効率よく輻射熱を放射します。

ボトムヒートシールド オプション

床面の加熱を防ぎながら、熱を前面に集中させるスチールプレート製のヒートシールドです。

本体及び煙突の設置について

◆ クリアランスチャート（壁からの離隔距離）

注意　ストーブ本体及び煙突の設置は、建築基準法及び消防法に従って正しく設置してください。設置の不備や破損を発見した場合は、そのままご使用にならず、お買い求めの販売店へご相談ください。また、設置基準に従わない場合、不備や破損をそのままの状態で使用すると、煙突火災や住宅火災など危険な状況を起こす場合があります。

FA225 スモールコンベクションヒーター　煙突垂直出し

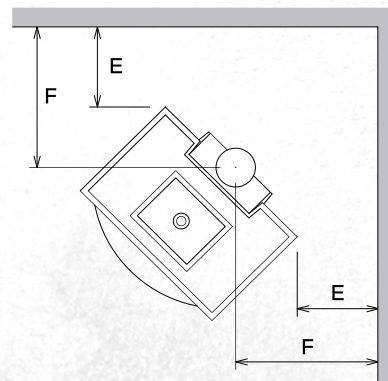
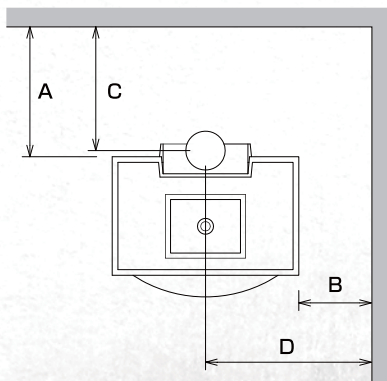
壁仕上	A	B	C	D	E	F
耐火壁なし	694	510	656	790	460	631
耐火壁なし＋リアヒートシールド＋パイプヒートシールド	480	510	442	790	380	551
耐火壁あり	474	300	436	580	250	421
耐火壁あり＋リアヒートシールド＋パイプヒートシールド	300	300	262	580	200	371

FA265 ラージコンベクションヒーター　煙突垂直出し

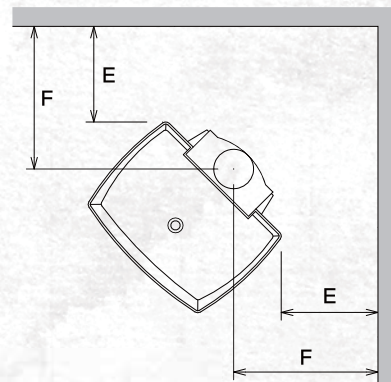
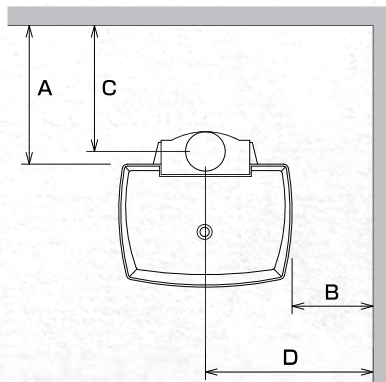
壁仕上	A	B	C	D	E	F
耐火壁なし	694	510	656	840	460	666
耐火壁なし＋リアヒートシールド＋パイプヒートシールド	480	510	442	840	380	586
耐火壁あり	474	300	436	630	250	456
耐火壁あり＋リアヒートシールド＋パイプヒートシールド	300	300	262	630	200	406

FA285 エクストララージコンベクションヒーター　煙突垂直出し

壁仕上	A	B	C	D	E	F
耐火壁なし	710	560	686	920	460	698
耐火壁なし＋リアヒートシールド＋パイプヒートシールド	560	560	536	920	430	668
耐火壁あり	480	410	456	770	300	538
耐火壁あり＋リアヒートシールド＋パイプヒートシールド	300	410	276	770	250	488

※耐火壁とは、25㎜以上の空気層を設けた特定不燃材壁をさします。

FA405／FA405R セネカ　煙突垂直出し						
壁仕上	A	B	C	D	E	F
耐火壁なし	694	510	642	800	460	611
耐火壁なし＋リアヒートシールド＋パイプヒートシールド	480	510	428	800	380	531
耐火壁あり	474	300	422	590	250	401
耐火壁あり＋リアヒートシールド＋パイプヒートシールド	300	300	248	590	200	351

FA455 セコイア　煙突垂直出し						
壁仕上	A	B	C	D	E	F
耐火壁なし	710	560	661	890	460	642
耐火壁なし＋リアヒートシールド＋パイプヒートシールド	560	560	511	890	430	612
耐火壁あり	480	410	431	740	320	502
耐火壁あり＋リアヒートシールド＋パイプヒートシールド	300	410	251	740	270	452

※耐火壁とは、25㎜以上の空気層を設けた特定不燃材壁をさします。

本体及び煙突の設置について

◆ 煙突設置の基礎知識

煙突の設置を考えるにあたり

薪ストーブは他の暖房装置と異なり、強制的なファンなどはいっさい使用せず、自然の上昇気流（ドラフト）だけで燃焼し、煙を排出しています。そのため、薪ストーブを正常に燃焼させ、スムーズに排煙を行わせるためには、正しい煙突の設置が非常に重要です。新築の住宅に取り付ける場合には、ストーブ設置業者、工務店等と相談のうえ、設計の早い段階で組み込むようにし、無理のない設置をしましょう。

煙突の設置方法

煙突はまっすぐ立ち上げる方法が理想的です。2階に部屋がある場合や、屋根が瓦などの場合は、どうしても曲げて壁から出す方法を考えがちですが、弊社では専用部材を揃えていますので、まっすぐ立ち上げてもまったく問題はありません。しかし、やむをえず壁から出す場合は、できるだけ横引き部分を短くし（1m以内）、曲がりの使用をできるだけ少なくすることが必要です。

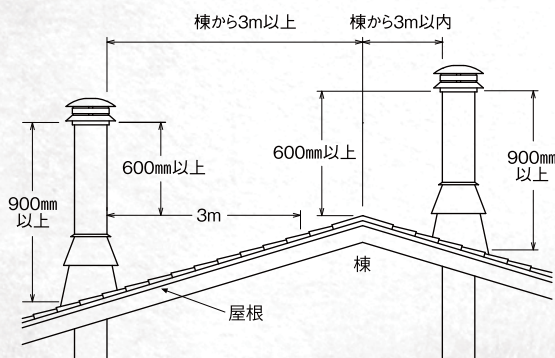
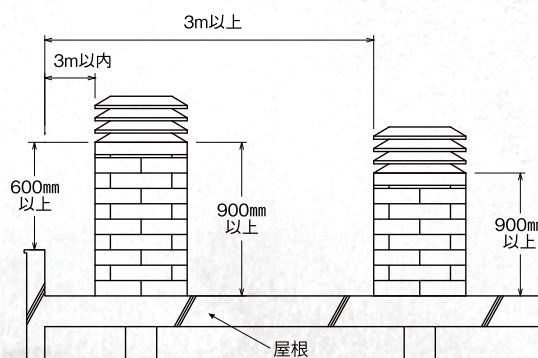
煙突の設置場所と高さ

設置条件等から煙突の設置場所が決まると、次の段階は煙突をどこくらいの高さまで伸ばせば良いのかということになります。薪ストーブを正常に燃焼させるためには、本体からトップまで4m以上の煙突の高さが必要となります。横引き煙突がある場合は、横引き1に対してその後の立ち上がり煙突は3～4必要になります。この時は必ず屋根よりも高い位置に伸ばすようにすることが大事です。しかし、この高さは屋根の勾配や棟からの位置によって異なるので、その場合は下の図を参考にしてください。ただし、急勾配の屋根の場合、この条件を満たすことが困難な場合があります。その場合は、できるだけ棟に近い位置に設置するようにしてください。しかし、これらの条件を満たしたとしても、設置箇所近くに高い木や建物等がある場合は、乱気流が発生し煙の逆流現象が起こる場合もあります。そのような時は、さらに煙突を伸ばすか、逆流防止用トップの取り付けなどの対策が必要になる場合もあります。

メンテナンス

煙突の性能を維持するためには、煙突の煤やゴミを取り除く必要があります。使用状況や使用する薪の種類などによってさまざまですが、最低でも1年に1度は煙突掃除をすることをおすすめします。

◆ 屋根上の煙突の高さ

勾配屋根

陸屋根

◆ 薪の基礎知識

薪となる木には、広葉樹と針葉樹の二種類に分類されます。広葉樹は堅木、針葉樹は軟木と呼ばれていますが、広葉樹は密度が高く、火持ちがよいのが特徴です。一方、針葉樹は広葉樹に比べ密度が低く、樹脂や精油成分が多く含まれています。その針葉樹を燃やしてはいけないと思っている人がいますが、それは間違いです。着火性がよくカロリーも高いので焚きつけに使用することで高いポテンシャルを発揮します。また、ストーブ本体に温度計を設置し、しっかりとした温度管理をしていただければ、針葉樹と広葉樹を混ぜて使用しても問題ありません。お客様の用途に合わせて上手に使用すれば、どちらも優れた燃料(薪)となります。

注意

●乾燥していない薪は、使用しないでください。ストーブ本体が暖まりにくく、クレオソートが多く発生し煙突内に付着してしまい、煙道火災の原因となります。また、科学処理された木は使用しないでください。ストーブ本体及び煙突を傷める原因となります。

●薪を保管する際は、乾燥を保つために、必ずカバーをかけるか、もしくは屋根付の棚に保管してください。

◆ 薪のポテンシャルを比較

U.S.D.A資料 #559.753より

		22立方m当たりkcal	灯油換算(リットル)	成長	火力	割りやすさ	着火性	炭化しやすさ	火の粉	香り	煙	適正
広葉樹	リンゴ	13,247,915	903	▲	◎	◎	▲	◎	少ない	◎	少ない	最高
	ナラ	12,594,868	858	▲	◎	◎	○	◎	中間	○	中間	最高
	ブナ	12,095,512	821	▲	◎	◎	▲	○	多い	▲	多い	最高
	カシ	11,818,092	803	▲	◎	◎	○	◎	少ない	○	少ない	最高
	シラカバ	10,486,476	714	▲	◎	◎	○	○	中間	▲	少ない	最高
	サクラ	10,414,347	707	○	◎	◎	▲	◎	多い	◎	少ない	最高
針葉樹	モミ	7,490,340	511	▲	▲	○	○	▲	中間	○	中間	中間　焚き付け用
	アカマツ	7,082,533	481	◎	▲	○	◎	▲	中間	◎	多い	中間　焚き付け用
	スギ	6,935,500	470	○	▲	◎	◎	▲	中間	◎	中間	中間　焚き付け用
	ツガ	6,259,705	426	○	▲	◎	◎	▲	中間	◎	多い	中間　焚き付け用
	カラマツ	6,670,286	455	◎	▲	○	◎	▲	中間	◎	多い	中間　焚き付け用
	ヒノキ	6,658,080	451	◎	▲	◎	◎	▲	中間	◎	多い	中間　焚き付け用

◆ 薪の入手方法

●ご購入先のストーブ店から購入する。
●薪の販売業者から購入する。
●森林組合から購入する。
●近所の果樹園で剪定木を交渉し譲ってもらう。
●山の地主から間伐材を交渉し譲ってもらう。
●新築工事があれば、大工さんと交渉し端材を譲ってもらう。
●地元で薪集め会がないかホームページで調べてみる。

薪の着火と燃焼

フェデラル コンベクションヒーター

新しいストーブは慣らし運転が必要です。急激な温度変化を受けると破損する場合があります。そのために、必ず慣らし運転を行い、鋳物を徐々に熱に慣れさせる必要があります。この慣らし運転をしなければ、耐久性は大きく変わります。これから示す手順を3〜4回繰り返し行ってください。また、ストーブ温度計（オプション）は、サイドドアに取り付け本体の温度管理を行ってください。

着火前の用意

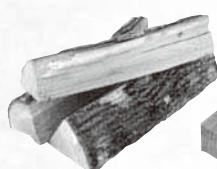
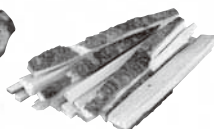
●ストーブ温度計

●ストーブグローブ

薪ストーブの操作には欠かせない牛革製の安全手袋のご使用をおすすめします。

●着火剤

●ファイヤーセット

火かき棒、スコップ、ほうき等、薪ストーブには欠かせないセットです。

●太い薪（二の腕くらい）　●中薪（手首くらい）　●細い薪（指幅くらい）

1 慣らし焚き

薪を焚く作業は、科学というよりも芸術に近いと言われています。乾燥した薪を使用し、ストーブの燃焼システムを良く理解することで、薪を焚く技術は簡単に身に付けることができます。

1

バイパスダンパー

エアーコントロールレバー

バイパスダンパーを開き、さらにエアーコントロールレバーを全開にします。

慣らし焚きの間は、バイパスダンパーを開けたままにしておきます。

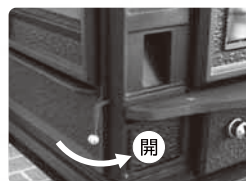
2

フロントドアを開け、中央に着火剤を置きます。

3

着火剤の上に6〜8本の細い薪を組みます。

このとき、空気の通りが良いようにすき間をあけて組んでください。

4

さらにその上に中薪を3本ほどのせます。

5

マッチ及びライターで着火剤に火をつけてください。薪に着火した事を確認してからフロントドアを閉めます。

6

10〜15分くらいで燃焼が安定してきます。それから太い薪を2〜3本足します。

エアーコントロールレバー

慣らし焚きの際は、ストーブ温度計が200℃以上にならないようエアーコントロールレバーで給気を調節してください。

注意 そのまま薪が燃えつきるまで放置し、ストーブ本体を冷まします。1 〜 6 までを3〜4回繰り返し行ってください。

注意

●灰受けドアは絶対に開けないでください。火力が非常に強くなり、本体を傷める原因となります。

●使い始めの数回は、ストーブ本体や煙突から煙と臭いが発生します。これは、塗料が加熱され焼きついて発生するものです。窓を開け、お部屋を十分に換気してください。

ポイント

うまく燃えない、煙が逆流することはありませんか?

煙突が冷えているとドラフト(上昇気流)が弱く、着火しない、うまく燃えない、煙が室内に逆流してしまうといった問題が起こる場合があります。そんなときは、バイパスダンパー付近に火(着火剤に火を着ける)をかざすことで、煙突が暖まりドラフトが発生します。

2 通常運転

3〜4回の「慣らし焚き」が終われば、1 〜 6 まで同じ手順で次のステップです。

7

真っ赤な熾きが炉床全体にできるまで、さらに2本ほど薪を補給します。30分ほどで勢いよく燃えるようになります。

補給する薪は、空気の通りがよくなるよう、すき間をあけ、互い違いになるように補給してください。

8

その後ストーブトップのプローブ温度計の温度が220℃に達していることを確認します。

220℃はキャタリティックコンバスターの作動開始温度です。

9

バイパスダンパーを閉めます。

10

コンバスターエアーダイヤルを1回転半開き、そのまま5〜10分ほど燃やし続け、その後エアーコントロールレバーで火力を調節してください。

注意

●バイパスダンパーを閉めてから、直ぐにエアーコントロールレバーを絞らないでください。煙が多く発生し、異常燃焼することがあります。

●バイパスダンパーを閉める際は、ハンドルがロックするまで、しっかりと回転させてください。

薪の着火と燃焼

3 薪の補給

1

バイパスダンパーを開けます。

2

フロントドア及びサイドドアを開け、ファイヤーセットで熾きを均一に広げます。

3

太い薪を足し、ドアを閉めてください。

中薪を足してから太い薪を足すと、素早く着火します。

4

エアーコントロールレバーを全開にします。

5 バイパスダンパー及びエアーコントロールレバーを全開のまま、5分くらい燃やし続けた後、バイパスダンパーを閉め、エアーコントロールレバーで火力を調節してください。

6

最適温度は200～300℃です。300℃以上継続して使用するとストーブ本体の破損の原因となります。

注意
- ●各ドアを開ける前には、必ずバイパスダンパーを開けてください。
- ●薪を補給して直ぐにバイパスダンパーを閉めないでください。煙が多く発生し、異常燃焼することがあります。

4 消火

薪ストーブは、電化製品のように瞬時に消火させることはできません。薪が全て燃えきったときが消火となります。消火させるには、エアーコントロールレバーを絞り、給気を遮断してください。ゆっくりと燃え尽き、消火します。

注意
消火には時間がかかります。水をかけての消火は大変危険ですのでお止めください。急激な冷却によりストーブを破損させてしまいます。

5 灰の処理

灰受け皿の灰は定期的に処理してください。お客様の使用頻度によって異なりますが、寒冷地で24時間使用している場合で、3～4日に1度です。

●灰入れバケツ

注意
- ●灰の処理は、火が消え、完全に冷えてから行ってください。
- ●取り出した灰は、フタのついた金属製容器に入れ、屋外で保管してください。また、可燃物との距離も十分確保し、不燃材の上においてください。

炉床の灰は全て取り除かず、2～3cmほど残してください。残すことによって次の着火がしやすく、また、断熱効果もあり炉床の保護にもなります。

セネカ & セコイア

新しいストーブは慣らし運転が必要です。急激な温度変化を受けると破損する場合があります。そのために、必ず慣らし運転を行い、鋳物を徐々に熱に慣れさせる必要があります。この慣らし運転をしなければ、耐久性は大きく変わります。これから示す手順を3〜4回繰り返し行ってください。また、ストーブ温度計（オプション）は、サイドドアに取り付け本体の温度管理を行ってください。

着火前の用意

●ストーブ温度計

●ストーブグローブ

薪ストーブの操作には欠かせない牛革製の安全手袋のご使用をおすすめします。

●着火剤

●ファイヤーセット

火かき棒、スコップ、ほうき等、薪ストーブには欠かせないセットです。

●太い薪（二の腕くらい）　●中薪（手首くらい）　●細い薪（指幅くらい）

アンダーファイアーエアーダイヤル

着火時にこのダイヤルを開くと、空気が勢いよく送り込まれ、素早く着火出来ます。安定燃焼しましたら、必ずダイヤルを閉めてください。開いたままにしておくと炉床を傷める原因となります。

1 慣らし焚き

薪を焚く作業は、科学というよりも芸術に近いと言われています。乾燥した薪を使用し、ストーブの燃焼システムを良く理解することで、薪を焚く技術は簡単に身に付けることができます。

1

バイパスダンパー

エアコントロールレバー

バイパスダンパーを開き、さらにエアーコントロールレバーを全開にします。

慣らし焚きの間は、バイパスダンパーを開けたままにしておきます。

2

フロントドアを開け、中央に着火剤を置きます。

3

着火剤の上に6〜8本の細い薪を組みます。

このとき、空気の通りが良いようにすき間をあけて組んでください。

4

さらにその上に中薪を3本ほどのせます。

次のページへ

薪の着火と燃焼 使用方法

6

薪の着火と燃焼

5

マッチ及びライターで着火剤に火をつけてください。薪に着火した事を確認してからフロントドアを閉めます。

6

10〜15分くらいで燃焼が安定してきます。それから太い薪を2〜3本足します。

エアコントロールレバー

慣らし焚きの際は、ストーブ温度計が200℃以上にならないようエアーコントロールレバーで給気を調節してください。

注意 そのまま薪が燃えつきるまで放置し、ストーブ本体を冷まします。1〜6までを3〜4回繰り返し行ってください。

注意

●灰受けドアは絶対に開けないでください。火力が非常に強くなり、本体を傷める原因となります。

●使い始めの数回は、ストーブ本体や煙突から煙と臭いが発生します。これは、塗料が加熱され焼きついて発生するものです。窓を開け、お部屋を十分に換気してください。

ポイント

うまく燃えない、煙が逆流することはありませんか?

煙突が冷えているとドラフト(上昇気流)が弱く、着火しない、うまく燃えない、煙が室内に逆流してしまうといった問題が起こる場合があります。そんなときは、バイパスダンパー付近に火(着火剤に火を着ける)をかざすことで、煙突が暖まりドラフトが発生します。

2 通常運転

3〜4回の「慣らし焚き」が終われば、1〜6まで同じ手順で次のステップです。

7

真っ赤な熾きが炉床全体にできるまで、さらに2本ほど薪を補給します。30分ほどで勢いよく燃えるようになります。

補給する薪は、空気の通りがよくなるよう、すき間をあけ、互い違いになるように補給してください。

8

その後ストーブトップのプローブ温度計の温度が220℃に達していることを確認します。

220℃はキャタリティックコンバスターの作動開始温度です。

9

バイパスダンパーを閉めます。

10

コンバスターエアーダイヤルを1回転半開き、そのまま5〜10分ほど燃やし続け、その後エアーコントロールレバーで火力を調節してください。

注意

●バイパスダンパーを閉めてから、直ぐにエアーコントロールレバーを絞らないでください。煙が多く発生し、異常燃焼することがあります。

●バイパスダンパーを閉める際は、ハンドルがロックするまで、しっかりと回転させてください。

使用方法 薪の着火と燃焼

3 薪の補給

1

バイパスダンパーを開けます。

2

フロントドア及びサイドドアを開け、ファイヤーセットで熾きを均一に広げます。

3

太い薪を足し、ドアを閉めてください。

中薪を足してから太い薪を足すと、素早く着火します。

4

セネカ　　セコイア

エアーコントロールレバーを全開にします。

5 バイパスダンパー及びエアーコントロールレバーを全開のまま、5分くらい燃やし続けた後、バイパスダンパーを閉め、エアーコントロールレバーで火力を調節してください。

6

最適温度は200～300℃です。300℃以上継続して使用するとストーブ本体の破損の原因となります。

注意

●各ドアを開ける前には、必ずバイパスダンパーを開けてください。
●薪を補給して直ぐにバイパスダンパーを閉めないでください。煙が多く発生し、異常燃焼することがあります。

4 消火

薪ストーブは、電化製品のように瞬時に消火させることはできません。薪が全て燃えきったときが消火となります。消火させるには、エアーコントロールレバーを絞り、給気を遮断してください。ゆっくりと燃え尽き、消火します。

注意

消火には時間がかかります。水をかけての消火は大変危険ですのでお止めください。急激な冷却によりストーブを破損させてしまいます。

5 灰の処理

灰受け皿の灰は定期的に処理してください。お客様の使用頻度によって異なりますが、寒冷地で24時間使用している場合で、3～4日に1度です。

●灰入れバケツ

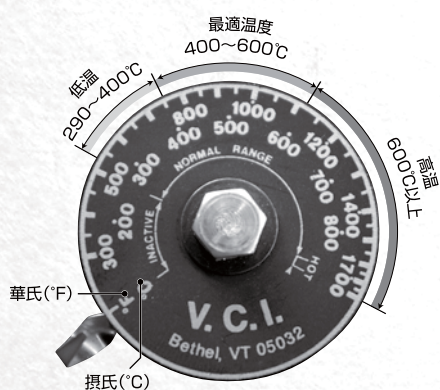
注意

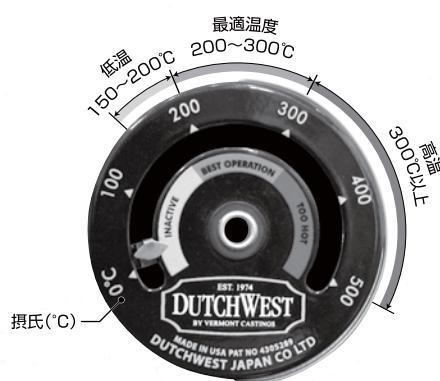
●灰の処理は、火が消え、完全に冷えてから行ってください。
●取り出した灰は、フタのついた金属製容器に入れ、屋外で保管してください。また、可燃物との距離も十分確保し、不燃材の上においてください。

炉床の灰は全て取り除かず、2～3cmほど残してください。残すことによって次の着火がしやすく、また、断熱効果もあり炉床の保護にもなります。

7 エアーコントロールと温度計について

エアーコントロールの調整具合は、絶対というものではありません。お客様のストーブ設置状態や設置場所、煙突の長さや薪の質によって異なります。使い始めの際は、どのように調節したか、記録しておくことをおすすめします。1〜2週間もすれば様々な状況で、最適なセッティングが出来るようになるでしょう。その中で2つの温度計はストーブを永年使用するために大事な役割を果たします。温度計を正しく理解してください。

プローブ温度計

プローブ温度計は、キャタリティックコンバスターの作動温度を管理するものです。最適な運転温度は、400〜600℃です。600℃以上を継続して使用するとキャタリティックコンバスターの破損の原因となります。温度が上がりすぎた場合は、エアーコントロールレバーを絞ってください。また、コンバスターエアーダイヤルを3回転以上開き、新鮮な空気を大量に取り込んでください。徐々に温度が下がります。温度が一時的に越えることは問題ありません。

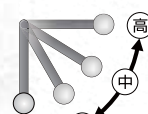
ストーブ温度計

ストーブ温度計は、ストーブ本体の温度を管理するものです。最適な運転温度は、200〜300℃です。300℃以上を継続して使用するとストーブ本体の破損の原因となります。温度が上がりすぎた場合には、薪の補給を止め、エアーコントロールレバーを絞ってください。温度が一時的に越えることは問題ありません。

エアーコントロールのセッティング

●コンベクションヒーター

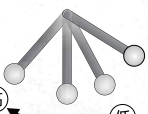
燃焼温度ごとのコンバスターエアーダイヤルの位置　　燃焼温度ごとにエアーコントロールレバーの位置

開　閉　　高　中　低　閉

高 3回転開く
中 1-1/2回転開く
低 1/2回転開く

●セネカ

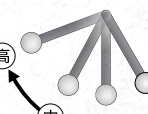
燃焼温度ごとのコンバスターエアーダイヤルの位置　　燃焼温度ごとにエアーコントロールレバーの位置

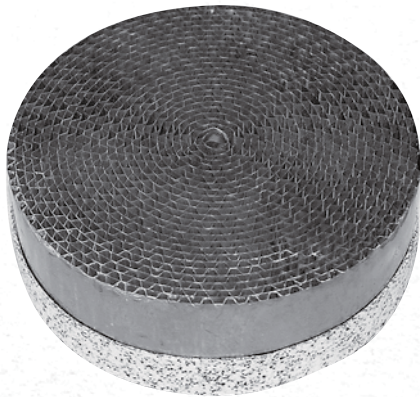
開　閉　　高　中　低　閉

高 4-1/2回転開く
中 1-1/4回転開く
低 3/4回転開く

●セコイア

燃焼温度ごとのコンバスターエアーダイヤルの位置　　燃焼温度ごとにエアーコントロールレバーの位置

開　閉　　高　中　低　閉

高 4-1/2回転開く
中 2回転開く
低 1/2回転開く

キャタリティックコンバスターについて

キャタリティックコンバスターは、薪を燃やし発生した未燃焼ガスを2次燃焼させるための触媒式再燃焼装置です。2次燃焼は通常、540～650℃にならなければ開始されませんが、これを220℃という低温で、分子レベルでの化学反応によって燃焼効率を高め、クレオソートと排気ガスを減少させています。コンバスターによる化学反応を促進させるためには、コンバスター自体と未燃焼ガスが、より多く接触することが必要です。コンバスターは、多面体の「蜂の巣」形状で、未燃焼ガスが接触する表面積を最大にし、表面には白金やパラジウムなどの貴金属が施され、未燃焼ガスが表面に接触することで高い効果が得られます。コンバスターの機能が低下してくると、幾つかの症状が現れます。

1.燃料消費の増大
2.煙突内部に付着するクレオソートの増大
3.煙突から出る煙の量の増大

コンバスターの機能低下には以下のような原因が考えられます。コンバスターの目詰まり「蜂の巣」形状は、効率よく化学反応を促進させますが、反面、未燃焼ガスの流れに対する抵抗が増すこととなります。クレオソートや煤の付着面積が多くなるため、正しい操作を行い、それらを最小限に抑え定期的な点検・清掃をすることが必要です。

不純物の付着

不純物の原因になるものは燃やさないでください。塗装や薬品処理された木材、石炭、家庭ごみ、着色紙、金属片、プラスチックなどを燃やすと、鉛や硫黄のような不純物がコンバスター表面を覆い、正常に機能できなくなり破損の原因にもなります。

炎による侵害

コンバスターは、直接炎にさらされるように設計されていません。ストーブを長い時間過剰燃焼させると、コンバスターの表面を覆う貴金属が剥がれ、2次燃焼機能の低下、もしくは失われることがあり、最悪は形成が保てず破損することもあります。
（コンバスターの適正温度：400～600℃）

衝撃による破損

コンバスターは大変デリケートな素材で作られています。点検・清掃などでの取扱いには十分気をつけてください。

寿命

コンバスターの寿命は、約18,000時間です。ストーブの使用頻度や薪の種類などによって異なります。交換時期は、お客様の1日の使用時間をもとに計算してください。

9 ドラフト管理

ストーブは、使用者・煙突・燃料・住宅からなる、総合的なシステムの一部です。ストーブ以外の要素がストーブの調子に大いに影響を及ぼします。全ての要素の相性がよいと、ストーブは効果的に働きます。
薪ストーブの性能は、ドラフト（上昇気流）次第です。ドラフトとは、煙突の先端部分の排気ガスの温度が、外気温度よりも高いときに発生する自然空気の働きです。温度差が大きいほどドラフトは強くなります。高い温度の煙が排気されると、吸引力が生じ、燃焼空気がストーブ本体に取り込まれます。エアーコントロールによって取り込む空気の量を調整できますが、強制的にストーブに送り込むことはできません。
薪ストーブの効率は、煙突設置状態によって、強力なドラフトを発生させられるか、最適な温度を長時間維持できるかによって、大きな影響を与えます。様々な煙突システムの影響と、ストーブの性能に与える影響についてご紹介します。

レンガ・石造りの煙突

欧米でよく見られる煙突。サンタクロースが入ってくる煙突。これらの煙突はレンガや石で組み立てられる伝統的な煙突ですが、気密性の高い近代的な薪ストーブに使うには不向きです。長時間燃やしていると、熱を吸収・蓄熱しますが、熱の落ち込みも激しく、強いドラフトを発生させるには相当の時間と熱量が必要となります。

ステンレス製の煙突

工場生産されているステンレス製の煙突のほとんどが、断熱効果のある多重構造になっています。多重層の間には高性能な断熱材が充填されているため、内側の煙突が高温になり、外側の煙突は断熱材が熱を保温しているので、ほとんど熱が伝わりません。そのため、周囲の構造物を熱から守ります。レンガ・石造りの煙突に比べ熱伝達が早く、ドラフトを十分に発揮できますので、ステンレス煙突の方が、耐久性・性能ともに非常に高いのです。また、外観もステンレス煙突に囲いを作り、レンガタイルを張ればレンガ・石造り風に仕上げることもできます。

煙突の設置場所

煙突の機能は、排煙温度が高い状態のまま排出することですので、煙突は住宅内部を立ち上げるのがベストです。この方法は外気の影響を受けることもなく、さらに煙突からの放射熱でお部屋を暖めます。屋外に逃げる熱が少ないということは、ストーブの熱のロスが少なくて済み、結果、燃費を抑えられることに繋がります。

煙突のサイズ

煙突のサイズは、ストーブの排気口と同じサイズでなくてはなりません。煙突のサイズがストーブの排気口より大きくなると、排気ガスは希薄され、結果温度が下がりドラフトも弱まります。煙突の直径が大きくなればドラフトを発生させるための熱量も多く必要で、暖まるまでに時間がかかり、せっかく溜まってきた熱量が少しずつ消耗されてしまうことになります。ストーブの排気口と合った煙突を使用しなければ、ストーブ本来の性能を発揮できないだけではなく、煙の逆流など燃焼にとって不利に働く場合があります。

煙突のレイアウト

ストーブから煙突のトップとの間に曲がりがある場合、排気の流れの障害となります。理想的なレイアウトは、ストーブから真っ直ぐ垂直に伸ばす方法です。ストーブの性能が最も発揮され、メンテナンスも容易に行えます。また、煙突設置の初期費用も軽減できるので、全てにおいてメリットしか生まれません。室内のシングル煙突を使用する長さは、ストーブの排気口から2.5mまでとしてください。これ以上になると煙が冷却されドラフトが弱まり、またクレオソートが発生し詰まりの原因となります。

単一煙突

薪ストーブにはそれぞれ専用の煙突が必要です。ドラフトは熱により自然発生するため、抵抗が少ない方へと進みます。煙突が開放型の暖炉やその他の機器に接続されていると余分な空気を引き込んでしまい、排気ガスの温度を下げ、ドラフトが失われてしまいます。これはホースに穴が開いた掃除機を使用しているようなものです。これにより、より多くのクレオソートを発生させてしまい、場合によっては煙が逆流する恐れがあります。

燃料

ストーブが最高の状態で設置されていても、燃料が悪いと燃焼効果は得られません。必ず1～1年半かけて乾燥させたものを使用してください。広葉樹が理想的ですが、針葉樹でもまったく問題ありません。ただ、クレオソートの原因となる樹脂を多く含んでいることと、火持ちがよくありません。
乾燥していない生木は、水分を多く含んでいるので、燃やしたとしても熱量が水分を蒸発させるために使われてしまいます。結果、暖房効果が得られず、排煙温度の上昇が見込めず、クレオソートの発生が促進されます。
薪の水分量は、見た目や重さから判断できますが、市販の含水計を使用すると正確に計ることができます。乾燥していない薪の重量は、未乾燥の薪の3倍です。また、薪は乾燥すると収縮するので、切り口(断面)のひび割れで判断できます。ひび割れが長く、幅が広いほどよく乾燥しているということです。

クレオソート

クレオソートは、特に湿った薪を低温でゆっくり燃焼させたときに発生します。煙の濃度が高い、またはドラフトが弱く、煙が149℃以下になると、煙突内に蓄積される副産物(有機タール)です。クレオソートは揮発性なため、高温で加熱されると煙突火災を引き起こす恐れがあります。最適な薪の使用、適切な煙突のレイアウト、そしてストーブの運転操作でドラフトを高め、クレオソートの発生を最小限に抑えてください。

負の圧力

良いドラフトを生むためには、ストーブへの十分な給気が必要になります。煙突は、ストーブに自然に供給される給気量しか引き込むことができません。住宅の気密性や排気設備機器(レンジフード、衣類乾燥機、機械換気設備)と空気の争奪戦になり、ドラフトの障害となります。問題のない場合もありますが、窓やドアを開けなければ十分な空気が取り込めないのであれば、壁や床に燃焼用空気を取り込む給気口を設ける必要があります。

バックパフ

バックパフとは、ドラフトが弱く燃焼速度に合わせて煙を排出できないときに起こる現象です。炉内で発生した煙が一定の濃度と温度に達したときに点火され「ボン」という音とともに、煙が空気取込口より出てきます。
バックパフは、弱火で燃焼させるような春先に起こります。
バックパフが起きた場合には、バイパスダンパーを開け、エアーコントロールを全開にし、空気をたくさん取り込み、勢いよく燃えるようにしてください。また、低燃焼時にたくさんの薪を投入すると、未燃焼ガスが多く発生しバックパフが起こります。

ドラフトテスト

ドラフトを簡単に調べるには、バイパスダンパーを閉め、気流が安定するまで数分待ち、その後エアーコントロールを開閉し、火力が調整できるか確認します。(火力が変化するまでに数分かかることもあります)
火力が調整できない場合には、再度バイパスダンパーを開け、ドラフトが強くなるまで待ってください。空気の調整や薪の投入量など関連付け、運転状況を記録するとお客様の設置状態にあった燃焼方法が分かります。

結論

薪を焚く作業は、科学というより芸術です。もちろん芸術には技術が伴わなくてはなりません。設置場所や薪の種類も様々なように、運転方法も変わってきます。薪ストーブの性能を発揮させるには、お客様が技術(タイミング)を習得しなければなりません。運転状況を記録することで、様々な因果関係や季節の変化がもたらす影響についても理解できるようになり、満足のゆく暖房効果を得ることができるでしょう。

10 メンテナンス【スケジュール】

ストーブ本体及び煙突を末永くお使いいただくために、定期的なメンテナンスが必要です。下記スケジュールを参考に、メンテナンスを行ってください。また、ストーブ販売店に依頼しなければいけない場合もありますので、保証書に販売店名と連絡先が記入されているか確認してください。

シーズン中のお手入れ		
点検項目	要　領	方　法
ドアガラスの清掃	煤・タールの除去・破損の有無	P28 参照
灰受け皿	溜まった灰の処理	P29 参照

シーズン終了後または前のお手入れ		
点検項目	要　領	方　法
煙突の清掃	煙突内部の煤・タールの除去	P31 参照
炉内の清掃と点検	煤・タール・灰の除去	P29 参照
各部ガスケットの点検	剥がれ・劣化の点検・交換	P29 参照
ドア調整	密閉具合の点検・調整	P30 参照
バイパスダンパー調整	密閉具合の点検・調整	P28 参照
リフラクトリーパッケージの点検	破損の有無	P27 参照
キャタリティックコンバスターの点検	灰・煤の除去・破損の有無	P27 参照
エアーコントロールレバーの点検	稼働部の調整	P30 参照
ガラスの点検	煤・タールの除去・破損の有無	P28 参照
ストーブの塗装補修	サビ・塗装剥がれの補修	P30 参照

シーズンオフ
春　ストーブ炉内の灰は湿気が溜まり、腐食(サビ)の原因となるので全て取り除く。
夏　バイパスダンパー及びエアーコントロールを開け、空気を対流させる。
秋　シーズン前のお手入れ(上記点検項目参照)
冬　シーズン中のお手入れ(上記点検項目参照)

フルメンテナンス
3〜5年に1度はストーブ販売店に依頼してください。
煙突掃除及びストーブ本体のフルメンテナンスを行います。

※ご使用状態によりメンテナンス費用は異なります。金額を確認してからご依頼ください。
※上記は取扱説明書の指示に従った正常な使用での標準のメンテナンス・スケジュールです。
お客様の使用状態によって時期が異なるケースもありますので、あくまでも参考として、
ご自身でスケジュール管理を行ってください。

メンテナンス【 本体の掃除とお手入れ 】

薪ストーブのメンテナンスというと、専門的な知識がないと出来ないと思う人がいますが、けっして難しいものではありません。そもそも薪ストーブは、薪を燃やして暖をとる、とてもシンプルでアナログな商品です。それを写真付で分かりやすく説明しますので、手順に沿ってメンテナンスを行ってください。では、完全に火が消え、温度が下がったことを確認し作業を始めてください。

掃除・お手入れの準備

ガスケットなど薪ストーブ専用のアイテムは専門店でご購入できます。掃除機は薪ストーブ専用にする物を用意してください。また、室内を汚さないように、いらない毛布などを敷いてから始めましょう。

- ●軟らかい布
- ●シリコンシーラント
- ●ガスケットボンド
- ●潤滑油
- ●耐熱スプレー塗料
- ●ストーブ・ポリッシュ
- ●ガラスクリーナー
- ●ツールキット

※購入時にツールキットが付属されています。ボルト類は全てインチサイズになっておりますのでツールキットをご使用ください。

- ●ガスケット
- ●ハンマー
- ●はけ
- ●ペンチ
- ●ワイヤーブラシ
- ●マスキングテープ
- ●インテラム・ガスケット

その他、掃除機・いらない毛布やブルーシートなど

1 天板裏のクリーニング

1

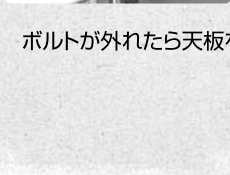
天板を留めているボルトをレンチで外します。

2

ボルトが外れたら、天板を持ち上げ外します。

3

こびりついた煤をワイヤーブラシで落とします。

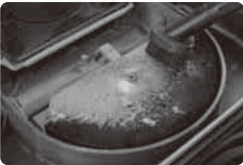
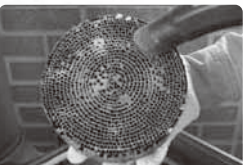
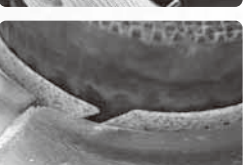
4

掃除機で天板の裏についた煤を吸い取ります。

天板のガスケットが傷んでいるときは、ガスケットの交換を行ってください。

セネカ&セコイアの天板の外し方

1

延長棒をつけたボックスレンチを使用して天板を固定しているボルトを外します。(正面向って右奥)

2

反対側にあるもう一つのボルトも外します。(正面向って左奥)

3 ボルトが外れたら天板を外します。

メンテナンス【 本体の掃除とお手入れ 】

2 リフラクトリー、コンバスターのお手入れ

1
コンバスターの上にのっているリフラクトリーの上の煤を掃除機で吸い取ります。この時破損がないかチェックします。

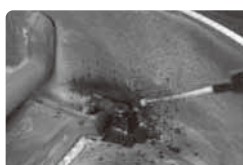
2
リフラクトリーを取り外し、コンバスターが割れていないかチェックします。インテラム・ガスケットの交換の準備もしてからコンバスターを取り外します。

3
コンバスターについている煤を掃除機で吸い取ります。

4
コンバスターの下のエアディストリビューターの周りにこびりついている煤をドライバーなどでトントンと叩き、下へ落とします。

5
煤が取れたらコンバスターに新しいインテラム・ガスケットを巻いて元に戻します。

6
少しコンバスターの周りにゆとりが出ますが、熱でインテラム・ガスケットが膨らむので問題ありません。

7
火室のほうから上を覗いて、バッフルをチェックします。ここが膨らみ、歪んでいたら、業者に依頼して取り替えてもらいましょう。

注意
リフラクトリーは壊れやすいため、手入れ時に落としたり踏みつけたりしないように丁寧に扱いましょう。
コンバスターを取り外してクリーニングする場合、インテラム・ガスケットが膨らんでいるため、コンバスターを元に戻せなくなることがあります。

3 ダンパーのクリーニング

1
ダンパーの周囲についた煤を掃除機で吸い取ります。

2
錆などで固まりボルトが折れることがあるので、取り外しやすくするために、潤滑油を吹きかけます。

3
レンチでダンパーを固定しているボルトを慎重に外します。

4
外側の取手との接続部を外す。押さえ金具(Eリング)は、マイナス・ドライバーなどの先を使い、テコの原理で外します。

力よりコツが必要です。

5
ノブを外し、ダンパーを取り外します。

6
ダンパーを取り外したところ。ガスケットが毛羽立っていたり、タールが染み込んで固くなっていたら、ガスケットの交換を行ってください。

注意
コンバスターの手入れと順序が逆でもOKです。ダンパーを外すとき、ノブを落として割らないように注意しましょう。

4 ダンパー調整

1
錆などで固まりボルトが折れることがあるので、取り外しやすくするために、潤滑油を吹きかけます。

2
ダンパー調整用ナット、そしてボルトを緩めます。

3
火室内、ダンパーの裏側にある固定ナットを緩めます。

4
固定用ボルトを緩めます。

5
調整用ボルトを1回転ほど締めます。

6
固定ボルトを仮締めし、ダンパーのロック具合をテストします。

必要に応じて、さらに調整してください。

7 調整が終了したら調整用、固定用のナットを締めてください。

5 ガラスのクリーニング

1
ドアの丁番はボルトなどで固定されていないので、ゆらゆら揺らしながら上へ抜く要領で外します。

2
ガラス窓は、専用クリーナーを使って汚れを落とします。内側のガラスにクリーナーを適量つけます。

3
クリーナーを軟らかい布などで、全面にまんべんなく塗り、15～30分ほど置きます。

4
クリーナーを乾いた布などでよく拭き取ります。

外側の面はほとんど汚れないので、乾いた布でから拭きする程度で良いでしょう。

5
ガラス窓がガタガタしているときは、内側でガラスを押さえている押さえ金具をプラス・ドライバーで外します。板状の金具の両端を2本のペンチで挟み、少し内側に曲げます。

6
内側に曲げた押さえ金具を付け直し、ガタガタしなくなるまで調整します。それでも調整しきれない場合は、ガスケットを交換してください。

注意
薪ストーブ専用のガラスクリーナーをご使用ください。市販の洗剤では汚れが中々落ちないため、ゴシゴシこするとガラスにキズを付けてしまいます。

10 メンテナンス【本体の掃除とお手入れ】

6 ガスケットの交換

天板、ダンパー部、ドアなどにあり、気密性を高めるガスケット。これが毛羽立っていたり、固くなっていたら、交換時期です。

1

古いガスケットを取り外します。

室内で行う場合は、カスが飛び散るので、養生をして作業しましょう。

2

こびりついて残っているシリコンは、マイナス・ドライバーの先を当て、そぎ落とします。

3

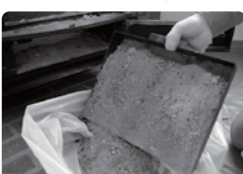
次に溝をワイヤーブラシできれいにし、掃除機で吸い取ります。

4

溝にシリコンシーラントを充塡します。

5

塗り終わったらガスケットを引っ張らず置いておくように貼付けます。

6

最後にハサミなどでガスケットを切って、はみ出ないように納めて完了です。

7 火室のクリーニング

1

火室の灰を取り除きます。

2

グレートを取り出し、歪みや損傷がないかをチェックします。

3

はけなどで隅にたまった灰を落とします。

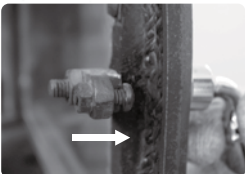
4

灰受け皿にたまった灰を捨てます。

5

最後に掃除機で残っている灰を吸い取ります。

注意

シーズンオフには、火室の灰をすべて取り除き、吸湿剤及び乾燥剤を入れストーブ内部を乾燥させてください。シーズン中は、灰をすべて取り除かずに1cmほど残すほうが薪ストーブを傷めず、また保護する役割があります。

大量に出た灰の処理はどうすれば良いですか?

大量に出た灰の処理は悩みどころです。灰は自治体により燃えないゴミ、有料で回収、引き取り不可などさまざまです。掃除をまめにし、1回に出る灰の量を抑え肥料や灰汁抜きなどに有効利用するのが一番です。

必要なとき
メンテナンス

8 ローディングドアの調整

1

お札などの紙を挟んで、ドアを閉めます。お札が挟まらずに抜けるようだったらノブが緩みすぎなので調整します。

2

ドアノブの調整は裏側のボルトを閉めて行います。レンチでボルトの増締めをします。

3

写真のようにボルトのネジ部が右側に出るほどノブがきつくなります。再度お札などを挟み、抜けなくなったらOKです。

注意

ガスケットが摩耗していてドアの締まりが緩い場合もあるので、ガスケットの減り具合もチェックしましょう。

9 エアーコントロールレバーの調整

使用していくに従い、膨張・伸縮の繰り返しで張力が狂ってしまうことがあります。

1

サイドドアを開き、フロントパネルの下の方をのぞき込むと六角ボルトがあります。

2

9/16インチのスパナで六角ボルトを外し、プラス・ドライバーを差し込み回して調整してください。

3 ●時計回り：強まる　●反時計回り：弱まる
終了したら六角ボルトを元に戻してください。

10 外側のクリーニング

1

ワイヤーブラシで汚れや錆を落とします。

2

ハケなどを使用し全体をきれいに払い落とします。

3

新品のようなツヤのある仕上りにするには耐熱スプレーを使いましょう。ノブやガラス窓は、しっかりマスキングすることは忘れずに。

注意

ホウロウ塗装（FA405R）の場合、キズや欠けができたときは、修理専用の補修パテを使い修復します。そして、本体付属のタッチアップ用の塗料を塗ればキズは目立たなくなります。

10 メンテナンス【 煙突の掃除とお手入れ 】

煙突掃除は、本体の手入れよりも大切なメンテナンスです。煙突に煤やタールが詰まった状態で薪ストーブを使用すると、煙道火災の危険性が高まります。最低でも、年に1度行ってください。また、高所での作業は危険を伴います。無理と判断した場合はお買い上げいただいた販売店へご依頼ください。また、このメンテナンスは簡略化したものです。お客様の設置例にそぐわない場合もありますので、その場合もお買い上げいただいた販売店へご依頼ください。

掃除・お手入れの準備

煙突ブラシなどの煙突掃除用のアイテムは専門店でご購入できます。ヘルメットやロープなどはお近くのホームセンターなどでご用意ください。

- ●煙突用ブラシφ150mm
- ●煙突ブラシ用延長棒
- ●ハンドブラシ
- ●ロープ
- ●ヘルメット
- ●ゴーグル
- ●ブルーシート
- ●大きいビニール袋

●煙突トップから行う場合

1 煙突トップを外す

1
トップと煙突をつなぐロッキングバンドを外します。

2
ロックがかかっているので回転させてからトップを外します。

煤やタールが付着し、外しにくい場合があります。トップを叩きそれでも外れないときは潤滑油を吹きかけてください。

2 ブラシで掃除する

1
煙突径に適応したブラシを用意してください。

2
ブラシを差し込みます。上下させながらブラッシングし、徐々に下方へ押し入れます。

3
必要に応じてロッドを継ぎ足してください。

注意
夏場は屋根が高温になるので春に作業をすることをおすすめします。また、高所での作業ですので、サポートする人とペアで行ってください。

煤やタールはストーブ本体口元に溜まります。本体のお手入れは煙突掃除後にすることをおすすめします。

必要なとき
メンテナンス

●室内から行う場合

1 屋内の煙突を外す

1
ストーブ本体と煙突を接続しているビスを外します。

2
煙突を持ち上げると外れます。外した煙突は屋外に運び出してください。

煤やタールが付着し、外しにくい場合は、回転させながら持ち上げてください。

3
シングル煙突から2重断熱煙突に変わる接続(アダプター)を外すためロッキングバンドを外します。

4
ロックが掛かっているので回転させてアダプターを外します。

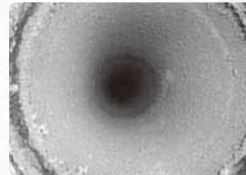
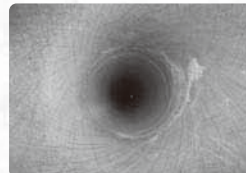
5
大きいビニール袋にロッドを通し、袋内でブラシを取り付けます。

6
袋を外したロッキングバンドで煙突に固定してください。

7
ブラシを差し込みます。上下させながらブラッシングし、徐々に上方へ押し入れます。

8
必要に応じてロッドを継ぎ足してください。

2 屋内の煙突を掃除

運び出した煙突は各ピースに分解し、ワイヤーブラシで掃除をします。

BEFORE

AFTER

11 トラブルシューティング

こんなときは	ここが原因	直し方
薪が燃えない	薪が湿っている	十分に乾燥した薪をご使用ください。 適正な薪については、14、24ページをご覧ください。
	太い薪のみ使用している	細い薪から焚き始めてください。 焚き方については15、18ページをご覧ください。
	バイパスダンパーを閉じている	焚き始めは必ず、バイパスダンパーを開けてください。
	燃焼用空気を絞っている	エアーコントロールレバーを全開にしてください。
	煙突が詰まっている	煙突掃除を行ってください。シーズン中は煙突トップだけが詰まることもありますので、トップの掃除も行ってください。
	キャタリティックコンバスターが詰まっている	キャタリティックコンバスターの点検・清掃を行ってください。 点検・清掃方法は27ページをご覧ください。
	換気扇を使用している	薪ストーブを焚く際、換気扇を使用していると、煙突内のドラフト（上昇気流）が弱まり、燃えにくい場合があります。 換気扇の使用を止めるか、窓を少し開けてください。
バイパスダンパーを閉めると燃えない	バイパスダンパーを閉めるタイミングが早い	ストーブトップのプローブ温度計の温度が220℃に達していることを確認し、バイパスダンパーを閉めてください。
	キャタリティックコンバスターが詰まっている	キャタリティックコンバスターの点検・清掃を行ってください。 点検・清掃方法は27ページをご覧ください。
	煙突が詰まっている	煙突掃除を行ってください。シーズン中は煙突トップだけが詰まることもありますので、トップの掃除も行ってください。
バイパスダンパーが開閉しない	焚きすぎによりバイパスダンパーが変形している	過剰燃焼を続けて使用すると鋳物が変形することがあります。 鋳物が変形する温度は800℃以上です。 その場合、ストーブ本体の表面温度は約400℃です。 修理・交換については、お買い上げの販売店にご相談ください。
	焚きすぎによりインナートップウェブが変形・脱落している	
	焚きすぎによりバッフルが変形している	

こんなときは	ここが原因	直し方
薪が早く燃えてしまう	バイパスダンパーを開けたままにしている	ストーブトップのプローブ温度計の温度が220℃に達していることを確認し、バイパスダンパーを閉めてください。
	燃焼用空気を全開のまま焚いている	エアーコントロールレバーで給気を調節してください。
	ドアを開けたまま焚いている	ドアを開けたまま燃焼させると、空気を大量に取り込み、薪の燃焼を促進させてしまいます。フロント・サイド・灰受けドアが閉まっていることを確認の上、ご使用ください。
	ドアパッキン（ガスケット）が消耗している	ガスケットを交換してください。ガスケットが消耗していると、隙間から空気を取り込み、薪の燃焼を促進させてしまいます。点検・交換方法は29ページをご覧ください。
	煙突が長すぎる	煙突が長すぎると、ドラフト（上昇気流）が強くなりすぎ、必要以上に燃焼を促進させてしまいます。その場合、煙突ダンパーを設けることをおすすめします。詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。
煙が逆流する	煙突が詰まっている	煙突掃除を行ってください。シーズン中は煙突トップだけが詰まることもありますので、トップの掃除も行ってください。
	キャタリティックコンバスターが詰まっている	キャタリティックコンバスターの点検・清掃を行ってください。点検・清掃方法は27ページをご覧ください。
	強風が吹いている	強風が吹くことで煙が逆流することがあります。できれば、煙突を延長させることをおすすめします。詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。
	曲がりが多い・横引きが長い	煙突は、曲がりの数が多い場合や横引きが長いと、ドラフト（上昇気流）の障害となります。結果、煙突が暖まらず煤やタールが溜まりやすくなります。煙突をしっかり暖めてドラフトを強くしてください。改善されない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
	換気扇を使用している	薪ストーブを焚く際、換気扇を使用していると煙突内のドラフト（上昇気流）が弱まり、煙が逆流する場合があります。換気扇の使用を止めるか、窓を少し開けてください。

11

トラブルシューティング

こんなときは	ここが原因		直し方
ガラスが曇る	薪が湿っている	▶	湿った薪を燃やすと、クレオソートがガラスに付着し曇ってしまいます。十分に乾燥した薪をご使用ください。
	空気調整レバーを絞るタイミングが早い	▶	低温状態で空気を絞ると、不完全燃焼となり煤やタールが発生しやすくなります。焚き方については15、18ページをご覧ください。
	バイパスダンパーを閉めるタイミングが早い	▶	ストーブトップのプローブ温度計の温度が220℃に達していることを確認し、バイパスダンパーを閉めてください。
	キャタリティックコンバスターが詰まっている	▶	キャタリティックコンバスターの点検・清掃を行ってください。点検・清掃方法は27ページをご覧ください。
	ドアパッキン（ガスケット）が消耗している	▶	ガスケットを交換してください。ガスケットが消耗していると、隙間から空気を取り込み、薪の燃焼を促進させてしまいます。点検・交換方法は29ページをご覧ください。
煙突が早く詰まってしまう	薪が乾燥していない	▶	しっかり乾燥した薪を使用してください。入手が困難な場合は、細かく割ってご使用ください。
	焚く温度が低い	▶	低温で使用すると、不完全燃焼となり煤やタールが発生しやすくなります。ストーブを焚く場合は、ストーブ温度計200℃以上でご使用ください。
	曲がりが多い・横引きが長い	▶	煙突は、曲がりの数が多い場合や横引きが長いと、ドラフト（上昇気流）の障害となります。結果、煙突が暖まらず煤やタールが溜まりやすくなります。煙突をしっかり暖めてドラフトを強くしてください。改善されない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
温度が上がらない（暖かくない）	薪が湿っている	▶	十分に乾燥した薪をご使用ください。適正な薪については、14、24ページをご覧ください。
	薪の量が少ない	▶	中薪（手首くらい）から太い薪（二の腕くらい）を多めに入れてください。また、本体が暖かいのにお部屋が一向に暖まらない場合は、お部屋に対して、ストーブ本体の容量が不足していると考えられます。お買い上げの販売店にご相談ください。
	バイパスダンパーを閉めるタイミングが早い	▶	ストーブトップのプローブ温度計の温度が220℃に達していることを確認し、バイパスダンパーを閉めてください。
	燃焼用空気を絞っている	▶	エアーコントロールレバーを全開にしてください。

保証とアフターサービス

◆修理依頼の前に

まず初めにトラブルシューティングで確認してください。トラブルシューティングにない異常がある時は、ご使用をやめ、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

◆修理に関するご相談について

ご不明な点や故障・修理に関するご相談は、お買い上げいただいた販売店にお問い合わせください。

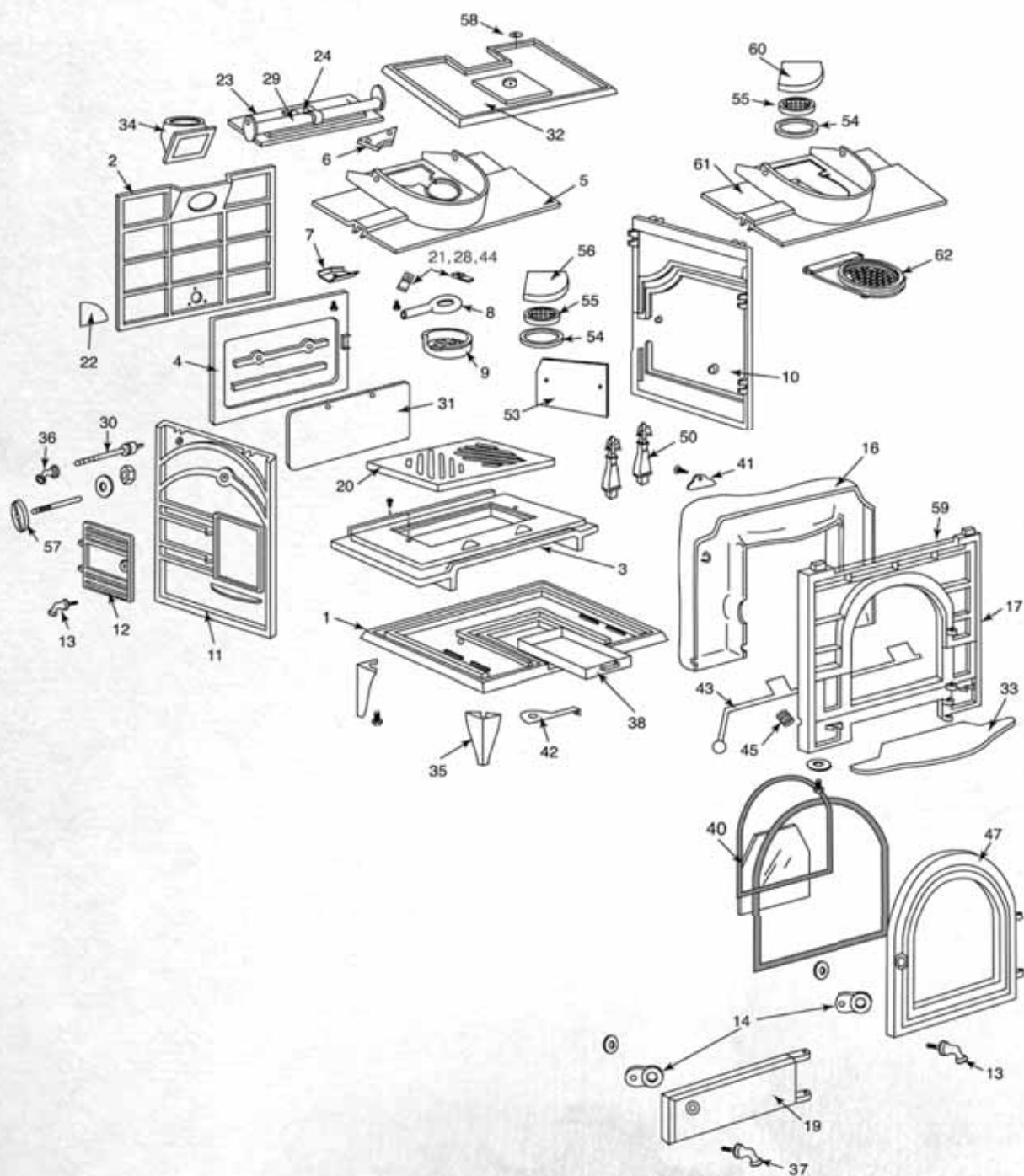
◆保証書について

保証書は、取扱説明書と一緒に同封されています。販売店名の記入をご確認いただき、お客様情報をご記入の上、弊社までお送りください。記入もれがありますと、保証し兼ねる場合がありますのでご注意ください。また、保証内容をよくお読みになり大切に保管してください。

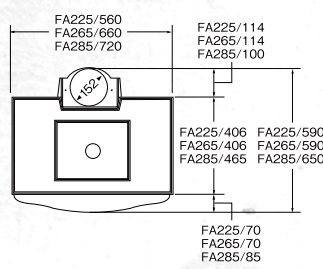
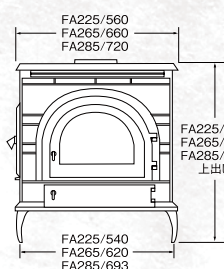
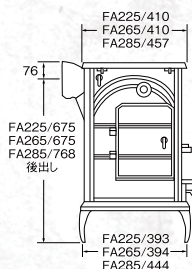
◆保証期間

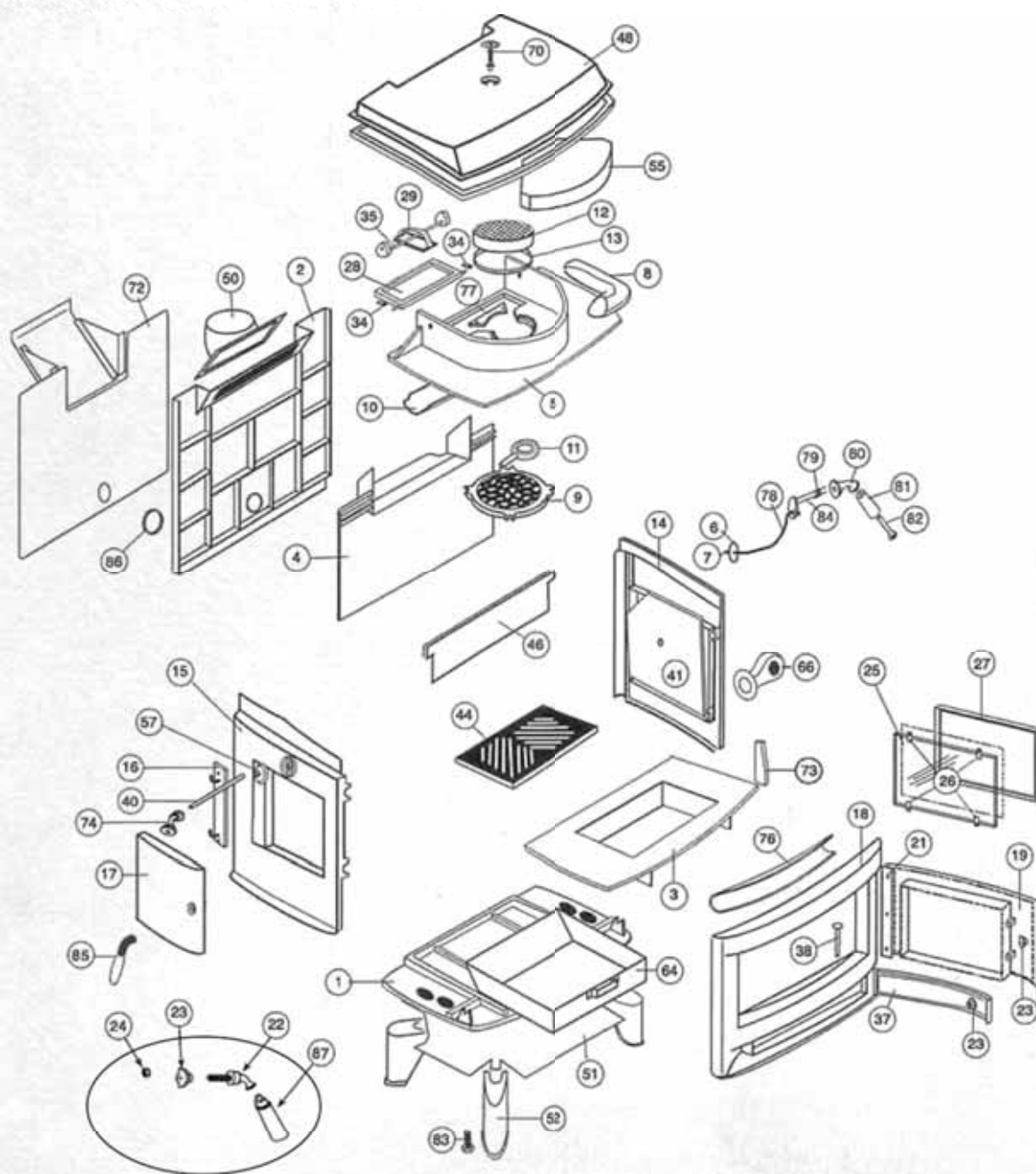
保証期間は保証書に記載されている期間となります。この期間中、取扱説明書の指示に従った正常な使用で故障した場合は、保証規定に従って修理致します。保証期間が過ぎている場合は、修理できる範囲内で有料にて修理致します。お買い上げいただいた販売店もしくは弊社までお問い合わせください。

分解図・パーツリスト

フェデラル コンベクションヒーター
FA225 / FA265 / FA285

		FA225	FA265	FA285
No	品名	品番	品番	品番
1	ボトム	7000958	7000978	7000979
2	バック	7001144	7001231	7001234
	バック固定用スタッドボルト 1/4-20 x 1-1/2”	1204214	1204214	1204214
	バック固定用ワッシャー 1/4	1202470	1202470	1202470
	バック固定用ナット 1/4-20	1203210	1203210	1203210
3	インナーボトム	7001136	7001116	7001149
	インナーボトム固定用ボルト 1/4-20 x 3-3/4”	1201394	1201394	1201394
	インナーボトム固定用ワッシャー 1/4	1202470	1202470	1202470
4	インナーバック	7001130	7001230	7001233
5	インナートップ	7001112	7001119	-
6	インナートップウェブ	7001110	7001110	-
	インテラムガスケット ウェブ用	1203540	1203540	1203540
7	インナートップチャンネルキャップ	7000961	7000974	7000987
	インナートップチャンネルキャップ固定用ボルト 1/4-20 x 2”	1201392	1201392	1201392
8	エアーディストリビューター	7000952	7000952	7000952
9	バッフル	7000953	7000953	-
	バッフル固定用ボルト 1/4-20 x 3/4”	1201374	1201374	1201374
	バッフル固定用ワッシャー 1/4	1202470	1202470	1202470
10	ライトサイド	7001229	7001229	7001232
11	レフトサイド	7001120	7001120	7001150
12	サイドドア	7001121	7001121	7001151
13	フロント&サイドドアハンドル(シルバー)	5004245	5004245	5004245
14	ポールアッセンブリー	30002362	30002362	30002362
	ソケットセットスクリュー 1/4-20 x 1/4”	1200417	1200417	1200417
	ストライカーボルト	1200461	1200461	1200461
	ストライカーロッキングナット 1/4-20	1203210	1203210	1203210
	ハンドルロッキングナット 3/8-16	1203290	1203290	1203290
16	プライマリーエアマニホールド	7001137	7001122	7001152
	プライマリーエアマニホールド固定用ボルト 1/4-20 x 1-1/4”	1201378	1201378	1201378
17	フロント	7001139	7001124	7001154
	フロント固定用スタッドボルト 1/4-20 x 1-1/2”	1204214	1204214	1204214
	フロント固定用ワッシャー 1/4	1202470	1202470	1202470
	フロント固定用ナット 1/4-20	1203210	1203210	1203210
19	アッシュドア	7001141	7001126	7001156
20	グレート	30002092	30002092	7001148
21	ウェブ用ダンパータブ	1601488	1601488	1601488
	ウェブ用ダンパータブ固定用ボルト 1/4-20 x 1/2”	1201338	1201338	1201338
22	ファンプレート	7000037	7000037	7000037
	ファンプレート固定用ボルト 10-24 x 1/2”	1201322	1201322	1201322
23	ダンパー	7000954	7000954	7000954
	ダンパー固定用ボルト 1/4-20 x 1/2”	1201338	1201338	1201338
24	ダンパーアジャスター	7000950	7000950	7000950
	ダンパーアジャスター固定用ボルト 1/4-20 x 1”	1201376	1201376	1201376
	ダンパーアジャスター固定用ワッシャー 1/4”	1202475	1202475	1202475
	ダンパーアジャスター固定用ナット 1/4-20	1203210	1203210	1203210
	ダンパーアジャスター調整用ボルト 1/4-20 x 1”	1201376	1201376	1201376
	ダンパーアジャスター調整用ナット 1/4-20	1203210	1203210	1203210
28	ダンパータブ	1601488	1601488	1601488
29	ダンパークランク	7000951	7000951	7000951
30	ダンパーオペレーティングロッド	7001145	7001131	7001160
	ダンパーオペレーティングロッド固定用ワッシャー 5/8”	1202561	1202561	1202561
	ダンパーオペレーティングロッド固定用 Eリング	1203058	1203058	1203058
31	バックグレート	7001166	7001166	7001178
	バックグレート固定用ボルト 1/4-20 x 3/4”	1201374	1201374	1201374
	バックグレート固定用ワッシャー 1/4	1202470	1202470	1202470
32	トップ	7000960	7000972	7000985
	トップ固定用ボルト 1/4-20 x 1”	1201376	1201376	1201376
	トップ固定用ワッシャー 1/4	1202470	1202470	1202470

		FA225	FA265	FA285
No	品名	品番	品番	品番
33	ハース	7001142	7001127	7001157
	ハース固定用ボルト 1/4-20 x 1”	1201337	1201337	1201337
	ハース固定用ワッシャー 1/4	1202470	1202470	1202470
34	フルーカラー 6インチ	7000969	7000969	1305050
	フルーカラー固定用ボルト 1/4-20 x 1”	1200907	1200907	1200907
	フルーカラー固定用ナット 1/4-20	1203329	1203329	1203329
	フルーカラー煙突固定用ボルト #10 x 1/2”	1202059	1202059	1202059
35	6インチ レッグ	7000016	7000016	7000016
	レッグ固定用ボルト 1/4-20 x 1-1/4”	1201378	1201378	1201378
	レッグ固定用ワッシャー 1/4	1202470	1202470	1202470
36	ダンパーハンドル(シルバー)	5004265	5004265	5004265
	ダンパーハンドル固定用ネジ	1200563	1200563	1200563
37	アッシュドアハンドル(シルバー)	5004237	5004237	5004237
38	アッシュパン	7000G79	7000G69	7000G89
40	ガラス	7001146	7001132	7001161
	ガラスクリップ	1601396	1601396	1601396
	ガラス固定用ネジ 10-24 x 1/4”	1200996	1200996	1200996
41	マニホールドキャップ	7001163	7001164	7001165
	マニホールドキャップ固定用ボルト 1/4-20 x 3/4”	1200881	1200881	1200881
42	ハンドルホルダー	1600600	1600600	1600600
43	エアコントロール(シルバー)	30002738	30002739	30002737
	エアコントロール用シルバーボール	30002729	30002729	30002729
44	エアコントロール用タブ	1601488	1601488	1601488
	プライマリーエアコントロール調整ボルト 1/4-20 x 5/8”	1200896	1200896	1200896
45	フリクションスプリング	1201846	1201846	1201846
47	フロントドア	7001140	7001125	7001155
50	アンディロン	7001117	7001117	7001117
53	サイドドアウェアプレート	7001198	7001198	7001199
	サイドドアウェアプレート固定用ボルト 1/4-20 x 5/8”	1201372	1201372	1201372
54	インテラムガスケット	837	837	837
55	キャタリティックコンバスター	CB56M	CB56M	CB56M
56	リフラクトリー	1602515	1602515	-
57	コンバスターエアダイアル	7001128	7001128	7001128
	コンバスターエアダイアル用スタッドボルト	1204253	1204253	1204253
	コンバスターエアダイアル用スタッドボルト固定ナット	1203161	1203161	1203161
58	プローブ温度計	948	948	948
59	シルバーロッド	30002731	30002732	30002733
60	リフラクトリー	-	-	1602514
61	インナートップ	-	-	7001226
62	インナートップインサート/バッフル	-	-	7001225
	ウッドハンドル	2787	2787	2787
	セラミックハンドル	5854	5854	5854
	フロント、サイド、灰受けドア用ヒンジピン	1201836	1201836	1201836

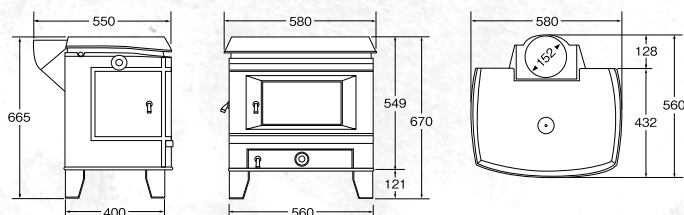
ガスケット	フロントドア ガスケット 7/16”	GK225FD	GK265FD	GK285FD
	サイドドア ガスケット 7/16”	GK225SD	GK265SD	GK285SD
	灰受けドア ガスケット 7/16”	GK225AD	GK265AD	GK285AD
	トップ ガスケット(天板) 3/8”	GK225TP	GK265TP	GK285TP
	フルーカラー ガスケット 5/16”	GK225FC	GK265FC	GK285FC
	ダンパー ガスケット 3/8”	GK225DP	GK265DP	GK285DP
	ガラス ガスケット 5/16”	GK225GF	GK265GF	GK285GF

分解図・パーツリスト

セネカ *FA405 / FA405R*

No	品名	品番
1	ボトム	1306035
2	バック	1306045
	バック固定用ボルト 1/4-20 x 1-1/4"	1201378
	バック固定用ワッシャー 1/4	1202470
3	インナーボトム	1306036
4	インナーバック	1306038
	インナーバックと両サイド固定用ボルト 1/4-20 x 3/4"	1201374
	インナーバックと両サイド固定用ワッシャー 1/4	1202470
5	インナートップ	1306056
6	エアーバルブ	1606055
7	ブラスボール	1402470
8	エアーチューブ	1306041
9	バッフル	7000953
	バッフル固定用ボルト 1/4-20 x 3/4"	1201374
	バッフル固定用ワッシャー 1/4	1202470
10	インナートップチャンネルキャップ	1306042
	チャンネルキャップ固定用ボルト 1/4-20 x 1-1/2"	1201386
11	エアーディストリビューター	7000952
12	キャタリティックコンバスター	CB56M
13	インテラムガスケット	837
14	ライトサイド	1306037
15	レフトサイド	1306043
16	サイドドアヒンジプレート	700G808
	サイドドアヒンジプレート固定用ボルト 1/4-20 x 5/8"	1201372
17	サイドドア	1306044
18	フロント	1306046
	フロント固定用スタッドボルト 1/4-20 x 1-1/2"	1204214
	フロント固定用ワッシャー 1/4	1202470
	フロント固定用ナット 1/4-20	1203210
19	フロントドア	1306047
21	フロントドアヒンジプレート	1606057
	フロントドアヒンジプレート固定用ボルト 1/4-20 x 5/8"	1201372
22	ドアハンドル	5004271
23	ドアラッチ	7000836
24	ソケットセットスクリュー 5/16-18 x 5/16"	1200563
	ハンドルロッキングナット 3/8-16	1203290
25	ガラス	1606058
26	ガラスクリップ	1601396
	ガラス固定用ネジ 10-24 x 1/4"	1200980
27	ブラストリム	1406060
28	ダンパー	7000954
	ダンパー固定用ボルト 1/4-20 x 1/2"	1201338
29	ダンパーアジャスター	7000950
	ダンパーアジャスター固定用ボルト 1/4-20 x 1"	1201376
	ダンパーアジャスター固定用ワッシャー 1/4"	1202475
	ダンパーアジャスター固定用ナット 1/4-20	1203210
	ダンパーアジャスター調整用ボルト 1/4-20 x 1"	1201376
	ダンパーアジャスター調整用ナット 1/4-20	1203210
34	ダンパータブ	1601488
35	ダンパークランク	7000951
37	アッシュドア	1306048
	アッシュドアヒンジピン	1206061
38	ダンパーオペレーティングロッド	7001145
40	ダンパーオペレーティングロッド固定用ワッシャー 5/8"	1202516
	ダンパーオペレーティングロッド固定用 Eリング	1203058
	インナーサイドプレート	1306051
41	インナーサイドプレート固定用ボルト 1/4-20 x 1-1/2"	1201386
44	グレート	1306050
46	バックグレート	1306039
	バックグレート固定用ボルト 1/4-20 x 3/4"	1201374
48	トップ	1306053

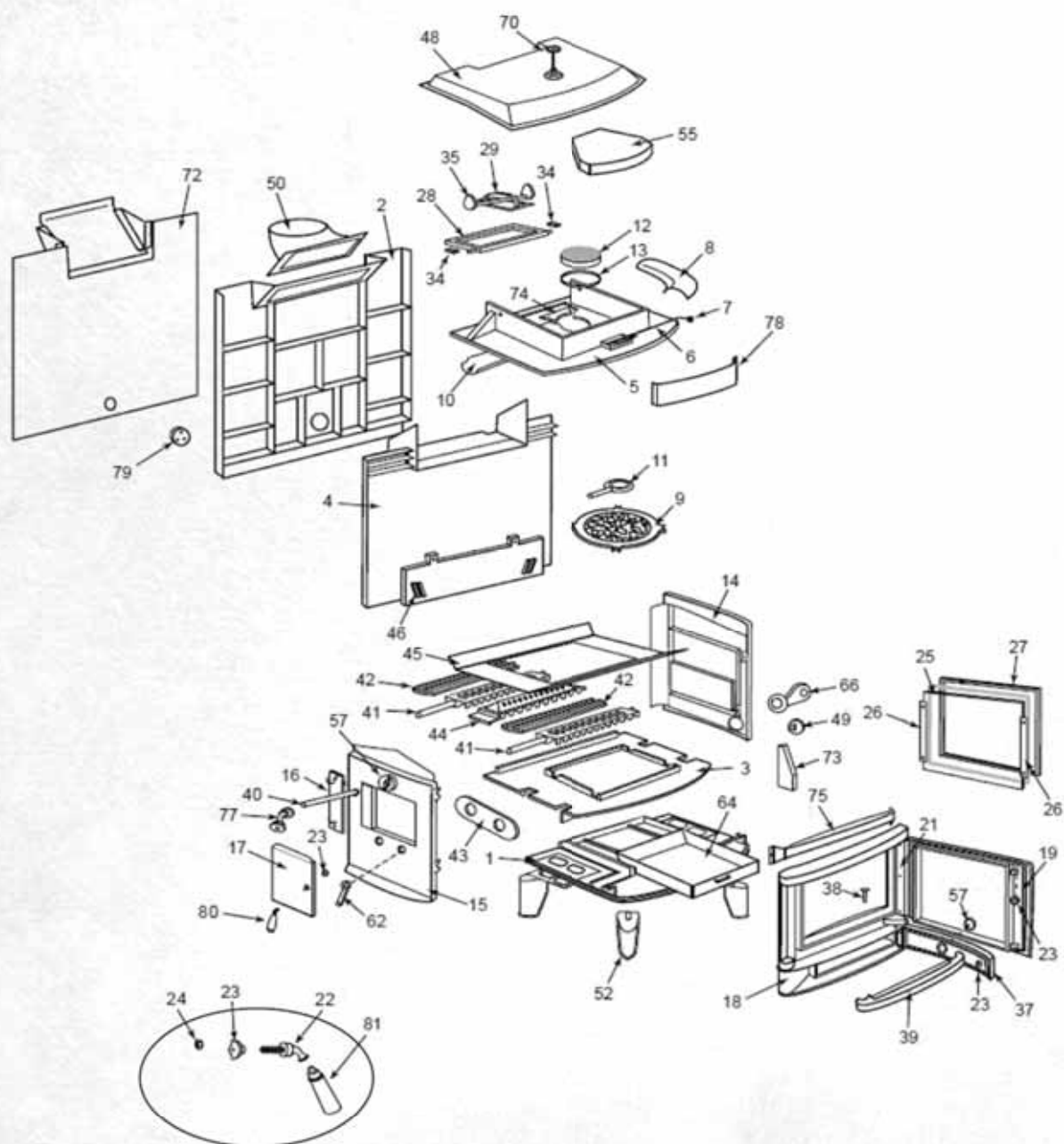
No	品名	品番
	トップ固定用ボルト 5/16-18 x 3-3/4"	1201483
	トップ固定用ワッシャー 5/16	1202479
50	フルーカラー6"	7000969
	フルーカラー固定用ボルト 1/4-20 x 1"	1200907
	フルーカラー固定用ナット 1/4-20	1203329
	フルーカラー煙突固定用ボルト #10 x 1/2"	1202058
51	ボトムヒートシールド (オプション)	1078
52	レッグ	1306054
	レッグ固定用ボルト 1/4-20 x 1"	1201376
	レッグ固定用ワッシャー 1/4	1202470
55	リフラクトリー	1602515
57	ブラスダイアル スモール	7000521
64	アッシュパン	7000G69
66	ファン (オプション)	9973
70	プローブ温度計	948
72	リアヒートシールド (オプション)	1061
73	アンディロン	1306052
74	ダンパーハンドル	5004267
76	ソケットセットスクリュー 5/16-18 x 5/16"	1200563
	エアーマニホールド	1306049
	エアーマニホールド固定用ボルト 1/4-20 x 3/4"	1201374
	エアーマニホールド固定用ワッシャー 1/4	1202470
77	インナートップウェブ	7001110
	ウェブ用ダンパータブ	1601488
	ウェブ用ダンパータブ固定用ボルト 1/4-20 x 1/2"	1201338
	インテラムガスケット ウェブ用	1203540
78	プライマリーエアーロッド	1606056
79	フリクションスプリング	1201846
80	エアーハンドル ブラス	5004263
	ソケットセットスクリュー 1/4-20 x 1/4"	1200417
81	エアーハンドル ウッド	1600660
82	エアーハンドル固定用ボルト	1201243
83	レッグレベラー	1201745
84	エアーアクチュエーターアーム	1606060
85	ブラスハンドル	000A902
86	ブラスファンプレート	1406063
	ブラスハンドル部分	7000271
	ハンドルエクステンション	842
87	セラミックハンドル	5854
	セラミック部分	620
	固定ボルト	1201293
	インサート	1600651

ホーローレッド

No	品名	品番
2	バック	1316045
14	ライトサイド	1316037
15	レフトサイド	1316043
17	サイドドア	1316044
18	フロント	1316046
19	フロントドア	1316047
37	アッシュドア	1316048
48	トップ	1316053
50	フルーカラー6"	2320969
52	レッグ	1316054

	品名	品番
ガスケット	フロントドア ガスケット 7/16"	GK405FD
	サイドドア ガスケット 7/16"	GK405SD
	灰受けドア ガスケット 7/16"	GK405AD
	トップ ガスケット(天板) 3/8"	GK405TP
	フルーカラー ガスケット 5/16"	GK405FC
	ダンパー ガスケット 3/8"	GK405DP
	ガラス ガスケット 5/16"	GK405GF

分解図・パーツリスト
必要なとき

分解図・パーツリスト

セコイア *FA455*

No	品名	品番
1	ボトム	7000992
2	バック	7000993
	バック固定用ボルト　1/4-20 x 1/2"	1201338
	バック固定用ワッシャー　1/4	1202470
3	インナーボトム	7000994
4	インナーバック	7000995
	インナーバックと両サイド固定用ボルト　1/4-20 x 1"	1201376
	インナーバックと両サイド固定用ワッシャー　1/4	1202470
5	インナートップ	7001115
6	エアーバルブ	7001009
	エアーバルブ固定用ボルト　1/4-20 x 3/4"	1201374
	エアーバルブ固定用タブ	1601488
	フリクションスプリング	1201846
7	ブラスボール	1402470
8	エアーチューブ	7001005
9	バッフル	7000953
	バッフル固定用ボルト　1/4-20 x 3/4"	1201374
	バッフル固定用ワッシャー　1/4	1202470
10	インナートップチャンネルキャップ	7001007
	チャンネルキャップ固定用ボルト　1/4-20 x 2"	1201392
11	エアーディストリビューター	7000952
12	キャタリティックコンバスター	CB56M
13	インテラムガスケット	837
14	ライトサイド	7000997
15	レフトサイド	7000996
16	サイドドアヒンジプレート	700G808
	サイドドアヒンジプレート固定用ボルト　1/4-20 x 5/8"	1201372
17	サイドドア	7001001
18	フロント	7000998
	フロント固定用スタッドボルト　1/4-20 x 1-1/2"	1204214
	フロント固定用ワッシャー　1/4	1202470
	フロント固定用ナット　1/4-20	1203210
19	フロントドア	7001002
21	フロントドアヒンジプレート	700G806
	フロントドアヒンジプレート固定用ボルト　1/4-20 x 5/8"	1201372
22	ドアハンドル	5004271
23	ドアラッチ	7000836
24	ソケットセットスクリュー　5/16-18 x 5/16"	1200563
	ハンドルロッキングナット　3/8-16	1203290
25	ガラス	7001011
26	ガラスリテイナー	7001012
	ガラス固定用ネジ　1/4-20 x 3/8"	1200993
27	ブラストリム	7001013
28	ダンパー	7000954
	ダンパー固定用ボルト　1/4-20 x 1/2"	1201338
29	ダンパーアジャスター	7000950
	ダンパーアジャスター固定用ボルト　1/4-20 x 1"	1201376
	ダンパーアジャスター固定用ワッシャー　1/4"	1202475
	ダンパーアジャスター固定用ナット 1/4-20	1203210
	ダンパーアジャスター調整用ボルト 1/4-20 x 1"	1201376
	ダンパーアジャスター調整用ナット 1/4-20	1203210
34	ダンパータブ	1601488
35	ダンパークランク	7000951
37	アッシュドア	7000820
38	アッシュドアヒンジピン	1201837
39	ハース	7001100
	ハース固定用ボルト　1/4-20 x 5/8"	1201372
	ハース固定用ワッシャー　1/4"	1202475

No	品名	品番
40	ダンパーオペレーティングロッド	7001131
	ダンパーオペレーティングロッド固定用ワッシャー　5/8"	1202516
	ダンパーオペレーティングロッド固定用 Eリング	1203058
41	ロッカーグレート	7001092
42	シェイカーグレートカバー	7000803
43	グレートシール	7001090
44	フィックスグレート	7000802
45	グレートフレーム	7000999
46	バックグレート	7000808
	バックグレート固定用ボルト　1/4-20 x 3/4"	1201374
48	トップ	7001000
	トップ固定用ボルト　5/16-18 x 3-3/4"	1201483
	トップ固定用ワッシャー　5/16	1202479
49	ブラスファンプレート	1406063
50	フルーカラー6"	1305050
	フルーカラー固定用ボルト　1/4-20 x 1"	1200900
	フルーカラー煙突固定用ボルト　#10 x 1/2"	1201678
52	レッグ	7000829
	レッグ固定用ボルト　1/4-20 x 1"	1201376
	レッグ固定用ワッシャー　1/4	1202470
55	リフラクトリー	1602515
57	ブラスダイアル　ラージ	7000011
62	シェイカーグレートツール	7000835
64	アッシュパン	700G802
66	ファン　（オプション）	9973
70	プローブ温度計	948
72	リアヒートシールド　（オプション）	1060
73	アンディロン	7001008
74	インナートップウェブ	7001110
	ウェブ用ダンパータブ	1601488
	ウェブ用ダンパータブ固定用ボルト　1/4-20 x 1/2"	1201338
	インテラムガスケット　ウェブ用	1203540
75	エアーマニホールド	7001006
	エアーマニホールド固定用ボルト　1/4-20 x 5/8"	1201372
	エアーマニホールド固定用ワッシャー　1/4	1202470
77	ダンパーハンドル	5004267
	ソケットセットスクリュー　5/16-18 x 5/16"	1200563
78	エアーディバイダー	30001900
79	ファンプレート	7000831
80	ブラスハンドル	000A902
	ブラスハンドル部分	7000271
	ハンドルエクステンション	842
81	セラミックハンドル	5854
	セラミック部分	620
	固定ボルト	1201293
	インサート	1600651

	品名	品番
ガスケット	フロントドア ガスケット　7/16"	GK455FD
	サイドドア ガスケット　7/16"	GK455SD
	灰受けドア ガスケット　7/16"	GK455AD
	トップ ガスケット（天板）　3/8"	GK455TP
	フルーカラー ガスケット　5/16"	GK455FC
	ダンパー ガスケット　3/8"	GK455DP
	ガラス ガスケット　5/16"	GK455GF